(明治卅九年九月十八日第三種郵便物認可)

京城日報

京城驛列車時間表 [illegible]

◎責任內閣組織に決す

三日總統府內特別會にて責任內閣の組織を議決す右は國民會議召集前に成立せしむることゝせりと(北京特電)

◎調停方對英依賴說

袁總統は時局收拾策に窮し英國政府に對して潜かに南北妥協調停に關する斡旋方を依賴せりとの說盛んなり(東京電報)

◎佛軍の强襲著々成功

ムーズ河の東方に於ける佛軍の强襲は著々成功を奏しヴォー村落の西方なるカイエットの一部分を奪回せり(巴里電報)

◎ボ教授の電請

サ號擊沈遭難に就き

家族と共にサセックス號に乘船し合せ令嬢が重傷を負ひしボールドウィン教授は大統領に宛て電文を發し米國の一婦人が米國旅券によりて旅行しつゝある間に生命に危害を加へられたるに對し權利擁護上斷乎たる手段を取らんことを要求し來れり(紐育電報)

◎奢侈品輸入禁止交涉

日英兩國政府間に奢侈品輸入禁止に關する交涉開始せられたり(東京電報)

◎官民調査委員會

政府は戰後の國家經濟、鐵道期成、製鐵事業等に關し各特別の官民聯合調査委員會を組織するの計畫中にして近く之が設置を見るに至るべし(東京電報)

◎妥協公債見合

政府は內債募集の範圍を佛貨公債の償還に留め貴族院との妥協公債は其募集を見合す事に決せり(東京電報)

◎朝鮮師團輸送開始期

朝鮮各師團に配屬すべき兵員は十三日より輸送を開始し大阪築港より御用船に搭乘渡鮮すべし(東京電報)

◎地洋丸救助船

香港沖に坐礁せる地洋丸引揚の爲め救助船商良丸六日門司を發航す可し(門司特電)

◎大森氏宮相說

京都府知事大森鍾一氏は宮相に任ぜられ大森知事の後任には木內重四郎

◎傳研所長新任

傳染病研究所は東京帝國大學直屬となり從つて該官制改正の結果今回同所長醫學博士青山胤通氏は自然廢官となり新官制により同研究所技師醫學博士林春雄氏其の後任を命ぜられたり(東京特電)

東京帝國大學教授醫學博士 林春雄
補傳染病研究所長

◎鑛山出願と處分

新鑛業令の實施後新鑛物殊に重石鑛の出願件數非常に多く今や六百件以上に達せるは既記の如くなるが當局にては四月一日以前に於ける出願の未處分件數約千五百件を擁し居れるより民間側には新鑛物の出願處分に多大の時日を要する如く思惟し往々悲觀せる者ある向なるも當局に於ては新舊の論なく處理し得らるゝものより著々處分する由なれば多數の競願ありて採擇に著しき手數を要するものは兎に角、其他は左したる日時を經ずして處分を見る可し

◎道長官會議(第二日)

各道長官會議第二日は前日に引き續き五日午前九時より總督府第二會議室に開催寺內總督山縣政務總監以下各部長官、所屬官署長官、局長、關係各課長等出席の上直ちに日程に入り諮問事項の答申ありて正午散會したり

◎道長官歡迎會

總督府、警務總監部、鐵道、遞信、土地調査各局等の勅任官、各課長以上約五十名は道長官會議の爲め目下入京中なる各道長官を八日午後六時半花月に招待歡迎會を催すことゝなれり

◎古海總長登廳

新任警務總長古海少將は五日午後一時十二分初登廳を行ひたるが同刻憲兵隊司令部玄關前には京龍各隊署長、憲兵隊司令部總監部等の判任官以上整列出迎をなし續いで高等官一同の伺候式行はれたり

◎兩課長の渡臺

總督府商工課長青木戒三、專賣課長平井三男兩氏は臺灣勸業共進會及び植民地行政事務視察の爲め臺灣臺北に出張を命ぜられたり、青木課長は十五日出發す可く平井課長は十二日發足の筈なり

◎鐵道測量隊出發

鐵道局技手板倉銳丸氏以下鐵道測量隊は栗里新義州間、平壤慈山間、小八營昌城間鐵道測量の爲め五日朝龍山を出發せり七月中旬終了歸龍の豫定也

◎乘馬會送別會

京城乘馬會にては副會頭白井少將の榮轉し又多年同會に援助を與へし村井憲兵大尉の退職せるにつき三日午後七時より千代本に於て送別會を催ほせるが小松會長、鈴木局長、岡本參謀、村田、篠川兩課長、菱田同會幹事等二十餘名出席したり

◎研修會休會

五日は總督府職員研修會例會日なりしも道長官會議の爲め休會となれり

◎東亞廣江の合同

半島煙草界一方の重鎭として多年生產界に雄飛し來りし廣江商會の東亞煙草會社との合同問題は曩に頓挫を來したること既に報じたるが其後幾ばくもなく再燃して急轉直下合同の形勢を促進し愈々同商會は東亞會社と合同經營せらるゝことに決定し目下事業の引繼中なり

◎商議評議員補缺

京城商業會議所評議員たる廣江澤次郎氏が其經營に係る廣江商會の東亞煙草に合同さるゝと共に廣江氏が京城にて別に商業を營まざるに於ては當然評議員たるの資格を失ふに至るものなるが若し果して然る場合には定款の定むる處により次點者たる進辰馬氏入選するに至るべしと

五日夕刊

定價 本紙 一部金三錢 一ヶ月金六拾五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 登口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

◎野田副總裁視察

野田東拓副總裁は黃海道方面視察の爲め五日午前九時二十分南大門發にて北行せり其行程は京義線土城驛より延安を經て海州に至り其より自動車にて沙里院に出で來る八九日頃歸京の豫定なりと

◎白井旅團長赴任期

新設第四十旅團長陸軍少將白井二郎氏は六日頃來任の白水參謀長より事務の引繼を受け十日頃京城出發大邱へ向ふ豫定なりと

▲追悼會時間變更

故金玉均氏追悼會は六日午後二時より南山本願寺に開催の筈なりしが都合により同日午後四時より執行することに變更せられたり

◎海寶大佐出發期

駐劄軍司令部副官より青森第五聯隊長に榮補せる步兵大佐海寶精氏は十日頃龍山發赴任の豫定なりと

◎田邊遞信書記官

田邊遞信書記官は遞信事業視察の爲め四日滿洲方面より入京せり市內視察の上六日南行の筈

釜山

▲記念植樹 釜山府廳主催の谷水源地記念植樹は三日の神武天皇祭日を以て府廳及び病院各官衙有志及び新聞記者團を招待し釜山郵便局前より電車三臺を借切り釜山鎭より有志のマラソン競爭あり各自記念の櫻樹を植ゑ宴に移り若松府尹の希望演說あり來賓總代村永吉氏の謝辭あり一同撮影の上散會したり

▲歸還兵一千四百名 三日來釜せる駐劄軍歸還兵一千四百名は當地一泊の上御用船琴平丸にて各所屬部隊に歸營したり

▲花輪書記長道廳へ出頭 釜山商業會議所新定款の字句其他訂正に付四月一日之を議了し總督府に認可申請を爲したるが再び訂正の事項あり尚ほ更に遲延す可きを以て花輪書記長は三日午後一時朝鮮汽船により三千浦を經晉州道廳に出頭する筈なり而して歸釜期は五日頃なるべし

大邱

▲記念植樹 慶北道廳にては三日午前九時より廳員一同大邱星州街道に沿うて記念植樹をなせり

▲白水參謀長送別會 大邱官民有志は新任軍參謀長白水少將に對し惜別の情深く五日午後六時より大和に於て盛大なる送別宴を張れり

▲白水軍參謀長告別 白水新任駐劄軍參謀長白水少將は四日告別の爲め諸官廳其他有志を歷訪したるが龍山へ赴任は六日午後一時二十三分發列車にて出發の筈

▲學校組合議員選擧 大邱學校組合議員補缺選擧は五日午前九時より午後四時まで大邱幼稚園にて執行の筈

▲赤十字愛國婦人慈善演奏會 赤十字社愛國婦人會大邱支部にては近々慈善演奏會を開催す由なるが其基金を需むべく四日午後一時より道廳會議室にて協議會を開きたり

▲法院出張所開始 大邱地方法院にては四月一日より永川浦項英陽星州に出張所を開設し登記事務を取扱ふことゝなれり

▲看護婦研究會 二日午後六時より大邱慈惠醫院に於て[illegible]

▲組合教會聖餐式 三笠町大邱組合教會に[illegible]聖餐式を擧行せり

▲測候所長更迭 大邱測候所長永峰定治氏は今回同所長を辭し仁川觀測所技手奧添鐵一氏是が代任を命ぜらる

▲宮崎畜產技手任命 [illegible]宮崎幸吉氏は今回慶北畜產技手に任ぜられ安東郡駐在を命ぜらる

▲今坂工務所開始 [illegible]

▲校長書記異動 [illegible]

▲鮫島警察署長榮轉 [illegible]

永川

▲在鄕軍人分會總會 永川在鄕軍人分會にては二日午前十一時永川小學校に於て第二回總會を開きたるが殆ど會員全部及び來賓の出席ありて頗る盛會なりき

木浦

▲水道通水式 當地水道擴張工事通水式は三日午前十一時一本松配水池に於て擧行す前夜來の氣遣はれし空晴れたれど風强くして近來珍らしき寒氣を覺ゆされど市民の歡喜と熱誠は何ぞこれしきの强風を厭はんや午前十時頃より續々式場に向ひ市中は國旗を掲揚して一段の景氣を添ゆ午前十一時開式橋本府尹の開式辭原水道主任の工事報告道長官代理綾田技師及び麻生衛生組長の祝辭ありて正午閉式其れより來賓及び參列員一同を後方設けの宴會場に行き各自歡を盡し各模擬店は大繁盛を極め全く退散せしは午後二時頃なりし▲昨日の入學式 木浦小學校にては一日午前十時新入學生百三十五名(男六十四名女七十一名)の入學式を擧行し吉村校長の生徒に對する訓話及び父兄に對する注意ありて午前十一時閉式因みに當日は生徒父兄の參列者頗る多く嚴肅に行はれたり

群山

▲練習船進水 群山簡易水產學校にては昨年即ち開校初年度に於ては釣漁練習船開丸三十石を建造し生徒の實地練習船に當てありしが本學年度に於ては生徒學業の進步に伴ふ必要に應じ更に網漁練習船として古群山丸五十石落網漁練習船として錦江丸十石の二隻を建造する事に決定し過般來群山正木造船所に於て製作中なりしが愈々右二隻共此程竣工を告げたるを以て四月二日午後一時より同造船所工事場に於て進水式を擧行したり官民多數の參列ありて工事場前面の江岸より無事進水を終ると共に開式し水產學校黑田講師の報告に次で同校長桑島繁三郎氏の挨拶ありて來賓側を代表して沃溝郡守山本小學校長其他の祝辭講演等ありて式を終り立食の宴に移り興酣なる時福井府書記の發聲にて水產學校の萬歲を三唱し撤宴したるは午後四時なりし

天安

▲天安と道路開通 天安驛より小井里間の二等道路改修中の所愈々三月末日を以て竣工し荷馬車の行通大に便なるのみならず天安本町一丁目より三丁目に至る道路の如きは兩側に石垣を以て一直線に築き實に本町の面目を一新せり溫泉里禮山間の道路も昨年來より改修中なりしが三月を以て竣工し行通非常に便なると共に天安禮山間の自動車は晴雨の別なく每日一回づゝ汽車の連絡を取り往復爲し居るため旅客の便此上もなきに至れり▲女學部新設か 天安公立普通學校には追々女學生の增加に伴ひ尚學生の進級すると共に男女混同を忌む向の女學生あるを以て女子部を新設せんとて池端校長半田郡書記沈郡參事及び學務員等と目下其協議中なりと

忠州

▲農事總會 三月三十日公立簡易農學校に於て忠州內地人農事改良組合春期大會を催し農作物品種改良に關する協議をなし宮本道技師の有益なる講話ありたり同組合は大正三年の創設に係り農事の改良及び鮮人農民指導開發を主眼とし殊に品種の改良に盡瘁せる尠しとせず組合長鹽田禎介氏の如きは昨年來模範採取田を設け共同苗代を經營し本年度に於ては籾種子二十石を自己小作人八十名に貸付け岡田市藏、大瀬由平氏等又貸付け配付を爲し本年度に於て在來種を絕滅せしむべしと▲小學校始業式 公立忠州尋常高等小學校にては四月一日始業式を擧行せり本年度に於ける新入學兒童は男子八名女子七名にして生徒總計六十七名なり▲守備隊奉讀式 二箇師團增設實施につき從來の朝鮮臨時派遣隊の名稱は四月一日より廢止され忠州守備隊は第十九師團第七十九聯隊に編入され龍山聯隊區に隸屬することゝなれり守備隊にては四月一日午前九時新聯隊編入記念の爲め勅諭奉讀式及び分列式を擧行したり▲桑苗配付 徐郡守田中庶務主任福田農業技手は愛日來桑苗交附狀況視察の爲め各面に出張中なりしが三十日より桑苗配付を實施せり本年度植付數は授產數配付五萬本共同購入十萬本にして蠶種掃立數千三百枚の豫定にして繭收穫高は本道第一位に位すべしと

忠州の手前より 日新生

▲小生の自動車は今淸忠街道を忠州さして直走りに走り居り候▲此街道は鳥致院淸州間及び忠州より堤川を經て江原道に入る道路と兩端に於て連絡し道內を南北に縱斷致し居り候、尤も忠州以北は目下工事中の個所あり自動車は忠州までに候へども明年度には竣成の筈に御座候▲忠北に入つて旅客の眼を惹くは第一道路の整頓したことに候、本街道の如きも二等道路の原則として幅は三間に過ぎざれど、斯かる山岳地に溪を埋め山を鑿ちて此れ丈けの道路を敷くは容易の業には候まじく、又何處の道路にも其兩側には必ずポプラ、ニセアカシヤの類を植付け何れも元氣よく育ち居り候が、鳥淸間は特に見事にて大分大きく相成り居り候▲街道に並木を栽植するは農作上兎角の議論あれど通行者に取つては有り難きこと此上なく、此邊も數年後には定めて旅客を歎ばす事と存じ候▲兩班の懷柔と道路の改修は前任鈴木長官の殊に力を注げる所にて兩者とも既に顯著の成績を示し居り候、之に就ては稿を改めて申上ぐ可く候が、本街道抔も餘程適切の道路にて有利に使用され居るものと見え車馬の來往絡繹として絕えず候▲今朝は以ての外の餘寒にて沼田には薄氷張り、沿道の芝生には處々に霜を見受け候ひしも、昏坪を過ぎ穩城も經て達川の渡しに著き候頃には聊か暖氣を催し漸く人心を覺え申候此處より忠州は一息に候(二日)

春川

▲歸還兵出發 春川守備隊滿期除隊兵卒七十名は先著の麟蹄守備隊滿期兵卒六十八名と共に今西軍曹引率の下に三十日午前八時出發原隊丸龜へ向け歸還の途に就けり出發の前日には官民合同にて淸酒一樽を贈りて滿期兵卒の勞を慰め出發の際は銀行前より京春街道に沿ひ文武官市民愛國婦人會員各學校生徒の見送り盛なりき殊に在鄕軍人は高田旗手を先頭に現役軍人の左翼に列し互に部隊の敬禮を交換したるが其規律整然たりしは一層人の目を惹けり

新幕

▲新幕守備隊は今回引揚に付中隊長以下四月三日午前七時列車にて龍山に向ふ停車場には高田憲兵分隊長官民の見送盛なりき▲新幕公立尋常高等小學校に於ては四月一日入學式を擧行新入者は三十名にして總員九十一名なり因に卒業退學生の五名に比するに十五名の增員なりと云ふ▲新幕學校組合に於ける大正五年度の豫算を聞くに收支共二千八百七十一圓にして之れを昨年度に比するに三百九十六圓の減額なる由又た新事業として火葬場の新設の計畫ありと云ふ又衛生組合に於ては大正五年度の豫算は昨年度と大差なし唯だ新事業として模範井戶一個所を設備するのみ▲新幕公立尋常高等小學校々長の外女教員及び代用教員三名の處今回長谷川新任訓導着任に付中尾代用教員解職同氏は四月二日新幕を引き揚び沙里院に引き上げたり▲新任第九師團長本中將は四月二日平壤より歸途新幕停車場に於て新幕守備中隊長以下の出迎を受て訓示するところありたり

沙里院

沙里院公立尋常高等小學校に於ては一日午前十時より入學式を擧行終りて卒業者の記念櫻樹を植栽せり沙里院公立普通學校に於ては午前十時より入學式を擧行せり沙里院地方三月三十一日午後五時過ぎより降雪あり積むこと一寸餘にして風起り寒氣甚し斯る氣候なれば農家は農作物等に害なきやを憂慮すること甚し沙里院衛生組合評議員全部任期滿限に付來る十日改選投票施行の筈載寧郡銀山面石灘洞三菱經營鐵山鑛石運搬の輕鐵の工事も本月下旬より起工に著手の筈にして其準備として已に假事務所の新築に著手せり

人事消息

▲生田淸三郎氏 水產事務視察の爲め十日より東京、大阪及千葉、滋賀、山口各縣に出張
▲青木戒三氏(商工課長)十五日出發臺灣に向ふ
▲平井三男氏(專賣課長)十二日出發臺灣に向ふ
▲水口隆三氏(關稅課長) 別府に靜養中の同氏は四日夜著任せり
▲牧山耕藏氏(電報通信社長) 地方視察の爲め五日朝出發
▲古城管堂氏(京城銀行頭取) 同朝出發南鮮へ
▲ミイラー氏(米國總領事) 四日午後[illegible]より歸京
▲木田水原模範場長 入京中の處四日午後歸任
▲ブラッブ氏夫妻(米國陸軍少佐)レサイス(同大尉) 五日朝橫濱より北京へ向ふ途中入京朝鮮ホテルへ
▲富士英氏(支那領事)黃宗鎭(同副領事) 五日朝仁川へ
▲矢部東洋生命支店長 五日朝出發釜山方面へ
▲中川湊氏(鐵藥家) 同日南方面へ
▲宇木業務氏(駐劄軍獸醫部長) 獸醫部長會議列席の爲め五日朝龍山發東上
▲加藤北與氏(鐵道局課長) [illegible]

宇治茶直接販賣

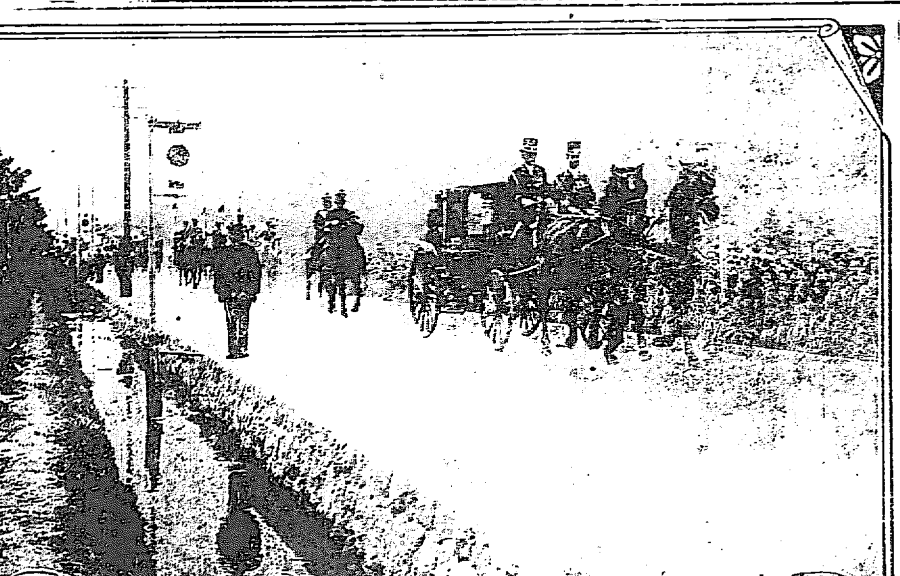
家庭の御慰安と來客待遇に貴重なる本場宇治茶の眞味は弊店が賣矢にて通信販賣に高評を博せり御安心の上續々御用命を乞ふ
◎御注文の品異同の節は品取換可申候

御茶銘錄定價表(二百目ニ付)
◎玉露製 ◎煎茶製 ◎折物製 [illegible]

製茶問屋 京都七條 井上六平
[illegible]

新築落成
製造力增大
大阪市西區北堀江川町
合資會社 吉川製油所

信用ある東京三金の特賣
ボックス製 長靴 長サ一尺三寸 金四圓八拾錢 一尺五寸 金五圓五拾錢
ボックス革製編上 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包(送料實費)にて送附す
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店
電話芝一六九〇 振替東京一七〇二三番
最新目錄紙代進呈



畝傍御陵へ向はせらる

●御名殘を惜み給ひつゝ 聖上奈良御發輦

聖上陛下には畝傍東北御陵に於ける神武天皇二千五百年式祭も滯りなく濟せられたるより五日午前七時三十分行在所奈良倶樂部御出門同五十分奈良驛發宮廷列車にて名古屋に向け御還幸の途に就かせられたり之より先き奈良縣警察部にては御出門前より御順路三條通より奈良驛に至る間並に奈良驛附近には要所々々に巡査を配置し警戒をさく怠りなし斯くて御發輦の定刻前に至るや御見送りの爲めに

伏見文秀女王殿下を始め奉り

皇后宮御使、東伏見宮御息所殿下、木田川奈良縣知事、西庄奈良市長、水谷川北畠南男爵其他各名譽職員、赤十字社員、愛國婦人會員等何れも正服正裝にて續々停車場に參集、また在郷軍人其の他各種公共團體は御順路の兩側に整列し御通過を待奉る、軈て御出門の時刻に至るや聖上陛下には行在所御車寄より御馬車に乘御内山侍從武官長御陪乘申し上げ警部二名騎馬にて先驅し奉り

天皇旗燦として春光に輝けば

聖上陛下には御馬車の裡より最とも御名殘惜し氣に附近の風光を御覽はせらる、鷹司侍從長近衛將校之に續き次で御召馬車徐々に進ませらる松川第十六師團長以下供奉員之に扈從し肅々と停車場に著御、添田鐵道院總裁の御先導を受けさせられつゝ宮廷列車に乘御あらせられ御定刻の七時五十分御發輦遊ばされたり因に木田川知事は奈良驛より龜山まで大森京都府知事は木津より龜山まで御見送り申し上げたり（奈良特電）

●皇后宮 奈良女子高等師範學校行啓

奈良倶樂部に御駐輦中なる皇后陛下には五日早朝聖上陛下の

□御還幸 を御名殘惜し氣に行在所の御車寄にまで御見送り遊ばされたるが軈て御豫定の通り御用意を整へさせられ

□御馬車 に召され千種權典侍御陪乘申し上げ高田文相以下供奉員之に從ひ三條通より女子高等師範學校に行啓

□正門内 にて御下車遊ばされ田所學務局長、野尻校長以下職員生徒の奉迎を受けさせられ御徒歩にて講堂に登らせ玉ひ御座所にて暫時

□御休憩 此の間野尻校長より學校の現況を詳細に聞し召されたる上同校長の御先導にて各教場其の他を御巡覽の後間もなく還啓仰出され再び御馬車にて

□御順路 を御駐輦所に御還啓あらせられたり（奈良特電）

●扶養料二千圓の請求 私生兒認知事件

釜山富平町一丁目藤木菊野（四）は其母藤木はるを法定代理人として釜山大廳町四丁目釜山商業銀行頭取[illegible]野彌左衛門に對し私生兒認知並に扶養料の請求訴訟を提起し既に二三回の公判が有つて頗る釜山附近の耳目を惹いて居る原告

▽菊野の母 はるは大正元年一月から大正二年の六月頃まで釜山幸町料理店鳴戸で秀松と名乘つて藝妓稼業をして居た事があるが大正二年二月中旬から前記の彌左衛門ははるの色香に迷うて繁々通つて居る間に遂にはるは彌左衛門の胤を宿して菊野を分娩した

▽懷姙以來 はるは藝妓稼業も出來兼ねる處から廢業して以來三味線や踊りの師匠を爲ながら只管はるの成長を待つて居た所が彌左衛門は家の女房の手前はるの度々の無心も受け付けず僅かばかりの金で一切の情實關係を絶たうとした其後はるよりの再三

▽子供の行末 に就ての相談が有つたが彌左衛門は一切受付けなかつた爲め遂に裁判沙汰と成つたのであるが私生兒認知と同時にはるより女學校卒業迄の費用として二千圓餘の扶養料を彌左衛門に要求した次回の辯論は來る十四日であるが釜山では一般に非常な好奇心を以て待つて居る

●電車に刎ね飛ばさる

四日午後五時半頃京城東大門外居擧入口附近を京城電氣會社の電車四十三號が進行中高陽郡崇仁面新設里洪在錫方居寓永俊長男戯山が線路を横切らんとし刎ね飛ばされ後頭部に長さ二寸の裂傷其他三箇所に裂傷擦過傷等を負ひたる急報に依り高陽署より警官出張檢視の上早速總督府醫院に收容加療中二週間にて全治すべき見込なり

●女に迷つて窃盜

山口縣阿武郡萩町生れ佐藤毅（二一）は墮落青年にて懲役一年廣島市にて商業學校の豫科を卒業したる者なるが大正四年二月初旬より同年七月中旬迄京城新町雜貨商まねき號に雇はれ品物の販賣及び代金の取立てたる代金十九圓六十七錢より取立中新町清月樓抱娼妓奴外十名を第一樓其他にて遊興消費し尙昨年十月十六日夜は第一樓本店にて同樓娼妓揚卷事内田きんの預金通帳一冊（預金高七圓）を竊取し其後北米倉町河村方に雇はれ中注文取りに出廻りたる際得意先なる中學洞の甲斐某方にて懷中時計其他を竊取したる爲め京城地方法院に於て懲役一年の判決となりたるを不服とし同覆審法院に控訴したり

●夫婦連れの賊

岡山縣和氣郡和氣町生れ當時京畿道水原郡水原面梅山里居元水原驛出札係諸練平（三）及び妻の增野（三）は昨年七月中水原驛貨物主任坂本某方官舍に忍び込み室内鏡臺の抽斗より二圓八十五錢入の財布を竊取したるを手初めに同年十一月中にも同樣手段にて同家より三回に渉り金品を竊取し次で水原驛助役宮司某方に忍び込み廿餘圓を竊取し其他にても窃盜を働き右の金品に依つて增野夫妻は身分不相應の生活をなしゐたる爲め遂に增野は水原署に檢擧せられ水原支廳に於て竊盜罪として懲役十箇月の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴したり

●小泥棒が多い 干物に要心せよ

頃日のやうに陽氣になつて暖くなると小泥棒が徘徊して例の干物の掠ひ被害が多くなる其も主として

▲内地人の住宅 を覘ふ朝鮮人泥棒が多く、犯人はモヒ中毒者と朝鮮人の不良少年とである、モヒ中毒患者は阿片煙やモルヒネの中毒症に冒されてゐるもので之を繼續する爲め盗んで藥品を買ふ手段として徘徊し、不良少年は掠つて之を古物行商人に格安に賣却する、普通の質屋や古物商では贓品の疑ひあるものは相手にせぬから例の

▲不正古物行商 が買ひ占めてゐる、警察では早くも是等に著眼して既に犯人を檢擧してゐるが其の多くは京城の町外れの部落に住んでゐるものである、家の構造上同じ衣類の干物でも内地人の居宅に盗難の害を被るものが多いといふことであれば各戸共注意を要する次第である

●本夫殺しの判決

屡々報道せし本籍岡山縣吉備郡惣社町當時京城太平通二丁目居江口きし（三）ひきしの情夫なる千葉縣千葉市生れの三澤浩（三）の兩名共謀の本夫殺害事件は京城地方法院にて豫審終結の際三澤浩は證據充分ならざる爲め免訴放免となりきしは殺人罪として同法院の公判に附せられゐたるが四月一日塚原裁判長水野檢事の立合にて無期懲役の判決さる

●海賊逮捕さる

昨年十月十日夜京畿道金浦郡の漢江にて籾船を襲撃し船夫二名を荒繩にて縛り上げ漢江の激流に投げ込みたる二人組の海賊中文聖秀は過般高陽署の手に檢擧されたるが其の片割なる開城郡中西面鈴村里生れの李有文（五一）は此程金浦署の手に逮捕さる

●井戸に投身す

京城杏村洞尹溶采（三）は四月二日午後七時半頃自宅内の井戸に投身して自殺を企てたるを家人が發見して直ちに引揚げ手當を加へ其筋に急報したれば鍾路署より警官出張檢視せしが同人は一昨年來精神に異狀を來し一時快癒したりしも昨今の季節に入り又々錯亂して右の所爲に及びたるものなるが約二時間の後遂に死亡したれば屍體は實父尹善亨が引取りたり

●二少年の燒死

忠南舒川郡時草面豐亭里白樂武方より三月二十三日午後六時頃出火し住家一棟を全燒して鎭火せしが妻の朴氏（四）は大火傷長男白南吉（十）妻の連子安鳳吉（七）の兩名は燒死したり

□七小學校の入學式

京城府内の七小學校では五日午前十時から入學式を行つた學校では父兄は母姉が新入兒童と共に雨天體操場に集め通學に就ての心得を説き各受持の教師を紹介するなどして正午散會した當日入學を許可された者は千四百八人で外に十六人の鮮人兒童が有つた（寫眞は南大門小學校）

●瀆職事件判決

元釜山府吏員立野芳之助（三）が釜山第二尋常小學校增築工事監督をなし居りし際其請負者松田定次郎（五）より賄賂を受けたる瀆職事件は釜山地方法院第一審に於て芳之助は懲役八箇月定次郎は同六箇月の判決を受けたるも不服にて大邱覆審法院に控訴中の處三十日判決あり立野は控訴の理由なしとて棄却され松山は原判決を取消し懲役三箇月三年間の執行猶豫となりたり

●火事場で卒倒

一日京元線[illegible]溪驛構内鐵道院丹羽氏宅醫務室外部に積藏しある薪炭より發火したるより家人及び附近の人々馳せ付け直に消防鎭火したるが消防の任に當りし機關車手木元吉助は突然心臟痲痺にて卒倒遂に死亡せり

●支那人の燒死

京畿道始興郡秀南面梧上里四統一戸姜永辰方三月二十八日午後四時焚口より發火し一戸一棟を燒失し鎭火したるが病臥中なりし同居支那人五十[illegible]燒死を遂げたり

●子供一名牛二頭

三月二十九日午後五時頃忠北報恩郡懷南面舍音里の居家より出火し全燒十七戸二十二棟にて小供及牛二頭燒死せり

●内地人に惜まれた 金玉均氏

李王職事務官 國分象太郎氏談

朝鮮の志士金玉均氏が上海の客舍に非業の最後を遂げてから今年で最早や廿餘年になる、氏が存命して居れば今年で六十一歳になるんだが不幸卅九歳の壯年を一期として刺客洪鍾宇の拳銃に殪れたのは遺憾な事です此

▲壯烈な最後は志士 としての歴史を飾るものと云つてよい死後その懷中から見出された詩中に感慨文句がある、それは『臨海舘舊眼匠に窮る、蜻蜓何處にか衒た雄を伸べん、試みに芙蓉峯頭より望めば巴蜀の山川指顧の中』とあつて下に耕雲作と記されてある思ふに臨海は（氏が内地を追はれて小笠原島に居たとを云つたものらしく）舘海は後北海道に移された時の函舘の海を指すのであらう兎に角頻りに思ふ日本にさへも[illegible]の同志の大井憲太郎の大阪事件が暴露してからは安んじて居るに由なく孤影悄然上海に向つたのであつた詩の中には少々平仄の誤りもあるやうだが兎に角氏は多藝多能、碁は

▲初段の壘を摩し 撞球も巧く筆を持たせても那な達筆を振ふといふ方で學問も相應にあつたやうである又氏は日本内地に亡命する事十年の間に充分其人爲や人格を内地人間に識られた人で朝鮮に稀に見る機敏な人物であつた、横死後の擧動を見ると氏は東京に居る間から支那の李鴻章○李經芳等と聯絡があつて上海上陸後は蕪湖から合淝（李鴻章の郷里）に赴いて兩人に面會する積りであつたらしい、其の證據には汽船の時間表なぞを記したものが遺つて居つたので知れる、氏の數奇な生涯は人も知る如く極めて波瀾重疊たるもので明治十七年には朝鮮の秕政を大改革する爲めに

▲謂ゆる金玉均の變 を卷き起した人である、革命の動機は詰りその前年明治十五年壬午の亂（謂ゆる大院君の亂）といふのが日本の公使館に累を及ぼしたので時の政府は朴泳孝を大使とし金晩植を副使として日本に謝罪使を差向けた時氏も潜かに日本に往いて大に日本の國情を視察し且つ有識者と交を結んだのが原因となつて居る、即ち（當時發展しつゝあつた日本の國情を視た）金氏は朝鮮の情氣滿々たる現狀を見るに忍びず歸來身を挺して半島の秕政を改革せんと試みたものである、其の一例を云へば氏は日本から井上角五郎氏を聘して漢城旬報なる新聞を起した事もある位で氏の考へでは何うしても當時

▲宮中に勢力を占め た守舊黨を一掃して半島に於ける支那の勢力を驅逐せざるべからずと決心したのである、併し世は守舊黨の天下である、金氏の微力奈何とも爲す能はずであつた、然るに時恰も支那は佛國と隙を構へ彼の福州の馬尾軍港で支那艦隊が殲滅された千載の好期が起つたので（氏は事を擧ぐるのは此の時なりとて）謂ゆる十七年の變を企てたけれ共不幸にして當時京城に在つた袁世凱以下の清國駐屯軍は本國の敗戰にはお構ひなく金氏一派を壓迫したのである、それで氏は朴泳孝氏等と共に日本に亡命するの止むなきに至つたがその後日本にも居られず小笠原島北海道に轉々したのは人の知る通りである、兎に角這回京城の有志者間に此の不遇なる志士の追悼會が催さるゝ事は誰れしも今昔の感に堪へぬ事であらう

耳の疾病 自宅治療法無代進呈

耳の疾病は恐るべきなり本院は社會の同病者に福音を授けつゝある自宅療法は最近醫學界の喝采を得たる新發見にして從五位醫學士森友道先生及び東京醫學專門學校藥學士藤本先生は本院の顧問となられ耳科一般の疾病は容易に治し遺憾なく完成し此信用ある療法を以て耳病を一掃せられなば恰も雲霧を排して旭日を望むが如く一身の幸福と一家の繁榮の新道を開拓せられよ因に郵券二錢を添附申込みあらば耳の話耳の衞生耳病に關する問ひ耳鳴き入聽力不足耳だれ耳なり中耳炎内外耳炎鼓膜炎等の疾患一切と病源を記せる一册子を何人にも無代にて送呈せん。

東京府荏原郡入新井村 棚橋博濟院

内科胃腸病 石川醫院

診察夜九時迄

京城本町一丁目 石川淳夫 電話 專用二七二三 三九番

エンパイヤ號

屢々高貴の御買上を蒙りたる光榮ある……最高級車

御大典記念特製品 エンパイヤ號自轉車（名古屋岡本製作所製品）

品質優良二大製品 純英國製 鐘馗タイヤー 日本製優等品 カクダイタイヤー

直輸入商 發賣元 鈴鹿商店自轉車部 京都本店

朝鮮總代理店 朝鮮京城明治町二丁目 瀧川銃砲自轉車店 電話三〇二番

郵便雜話

矢野事務官談

戰時の露國郵貯激增

歐洲戰爭の勃發以來露西亞の郵便貯金は些の減退の傾向なき而已ならず却つて益々增加の勢ひを示してゐる乃ち一千九百十四年九月以後千九百十五年四月迄の間に於て預入金高平均一箇月三千八百十二萬留あり之れを前年同期に於ける平均預入金高一箇月八百七十萬留と比較すれば實に一箇月四倍餘の激增である蓋し以上の如き郵貯の激增は飲酒の禁令により各人浪費を防ぐと共に國民貯金思想の向上せるとによると云ふされば露國政府に於ても出來得る限り各貯金者の利便を計らんが爲取扱局所の增設を計ると共に各種の便利な點を考案中だと云ふ

墺太利は振はず

露國郵貯の激增に反し墺太利は甚だしく減退の狀況にある乃ち千九百十四年度末に於て前年に比し預け人二萬三千三百人の減少あり而已ならず預金現在高に於ても二千四百四十六萬クラウンの減少を示してゐる墺國では目下人口一千人に對し八十人の郵貯預入者があり一人平均預入額七十六クラウンあるに過ぎざるを以て郵貯の點に於ては之れを他國に比し頗る不況にあると云つて宜い

日本郵政の進步

英人某の著書に日本郵便制度に關する下の如き記事がある日本の郵便制度は其の組織頗る完備してゐる千八百五十四年？前の日本郵政たるや十二世紀頃の幼稚極まる歐洲の制度と大差なかつたが今や歐洲各國の現制度と異なるなき迄に進んでゐる然も日本は島嶼多く山地少からざるのみならず郵便は人口の割合に面積廣大に失するを以て郵便行政上幾多の不便あるに拘はらず、茲迄進んだのは實に賞してよい

通信機關と普及

方今世界の強國中郵便機關の最もよく普及せるは瑞西國で面積六方里二人口九千三百人に對し十の郵便局所を有する割合である亦最も郵便制度の完備せるは獨逸を推さゞるを得ない然し普及の點に於ては瑞西に次ぐものは猶ほ面積六方里九人口一萬五千七百人に對し十の郵便局所を有してゐる英國の如きは世界第三位だ亦各國民一箇年間の通信力乃ち郵便差出數を掲ぐると左のやうになる

英	一二〇	獨	一〇五	露	一一
墺	五九	日	三二	米	一六六
佛	八七				

亦人口百に對する一箇年の電報差出數を掲ぐると

英	二〇五	伊	一六九	露	一二七
墺	八七	日	六五	米	一二〇
獨	九九				

小包便損失の責任

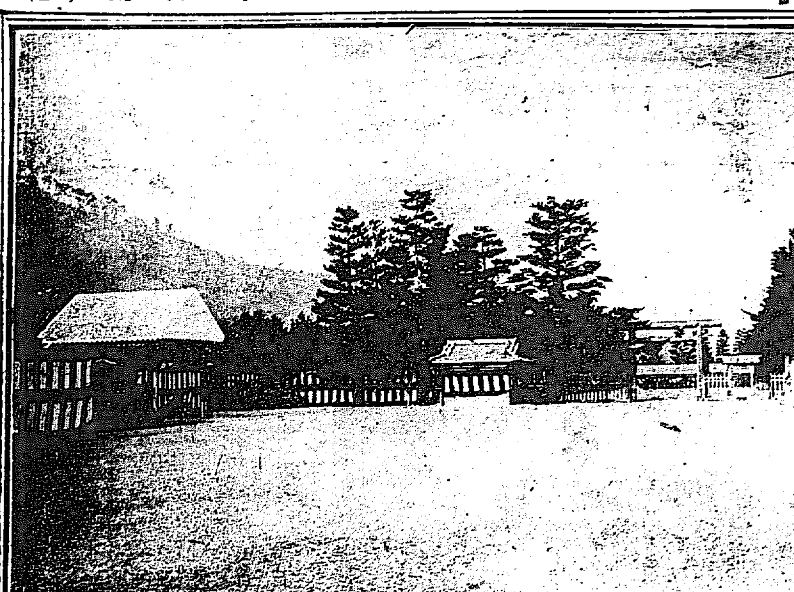
英國では小包郵便損失の責任に關し調査する所あつたが百中九十九迄は差出人の不注意に基因してゐた蓋し小包郵便の差出人中には包裝不完全の儘差出す者あり遞送途中破損する事あり或は單に一小紙片に受發信人名を記載し之れを小包郵便物に結び付くるが爲め遞送途中此の紙片の脫落する場合があつて往々配達不能となる事がある若し包裝にして完全ならば鷄卵玻璃器等をも毫も破損する事なく郵送が出來る

英國局員の健康

英國の郵便局員中男子は一箇年中平均一週と半日病み女子は平均一週と九分病休する而して其の死亡數は男子千人に付三人四分女子は千人に付一人三分死亡すると云ふ又退職者並に死亡者の平均年齡は左の通りだ

死亡者	男子	四十二年（勤務十九年）
	女子	三十六年（同十四年）
病氣退職	男子	四十五年（勤務二十四年）
	女子	三十七年（同二十三年）
六十歲以上退職	男子	六十一年（同三十六年）
	女子	六十一年（同三十年）
女子結婚退職	平均	二十八歲（同八年）

右に依るときは六十一歲の齡を重ねると始んど退職せぬものなき狀況で且つ女子の結婚せるは廿八歲前後の者が多いやうだ又以て英國郵便局員の健康狀態を知るに足る（つゞく）



御式年祭當日の畝傍御陵

小生豫て上京中の處本月二日歸院致候 入院隨意 京城南大門通三丁目 胃腸醫院 院主 佐々木杏造（電一六五九）

全州の火事

四月二日午後九時半全羅北道全州料理店琴月より出火し同家全燒せり損害約千二百圓なりと

演藝

▲有樂館　即位御大禮御民拜觀の御大典活動寫眞にて五日夜より蓋切すべく六日より變化二回映寫すべし
▲壽館　落語三遊亭一派一行にて開演中一等三十錢二等二十錢三等十錢に引下げたり
▲黃金館　昔し好評を博したる塚原の仇波の新編にて人氣を呼び居れり
▲大正館　近く大々的某新聞所載の小說を脚色せる劇を取仕ふる筈なり

所謂ひとつ

▲朝鮮銀行のお歷々は何れも才子揃ひで鮮銀の方と云へばお座敷で持てること夥しい▲その鮮銀の連中が一座した席ではヤンチヤ騷ぎの末が必ず「解剖」といふ事が盛んに行はれる、解剖と云ふのは……マア說明は止さう、兎に角そんな惡戲をされても不思議に女共は怒らないと云ふのだから大したものだ▲今お酒禁制の國に行つて居る某君なども此の解剖組の猛者らしいが、酒量も非常なものだ。それでお『好きな酒が飮めないで、嘸困つてらつしやるだらう』と、毎晩膳を据ゑて二合德利を供へて居る優しい人もあるさうだ。

商況

東京株式特電

（五日前場寄付）

	寄付	大引
日本郵船	一八五、〇〇	一八四、八〇
日露五新	二九、二〇	二九、六〇
同　新	一三三、〇〇	一三二、七〇
東株第一	一二九、四〇	一二九、九〇
東株第二	一〇九、七〇	一〇八、九〇
東新第二	一〇〇、九〇	一〇〇、九〇

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

朝鮮物產特電

[illegible]

雜報

毛斯は底強し

高値に加ふるに餘りの高値なる爲め前情頗る振はざるのみならず最近英政府の奢侈品輸入禁止に遭遇したるなどにて毛斯は更に下落して廿三千番以下六十二錢赤百番は五十八錢九厘まで挫折したるも原料關係にて益々騰貴の止むなきに至りたると同時に毛糸の五二六四物は廿三圓六十五錢の高値なるを以て不引合の結果手控者も[illegible]

皮革類昂騰

本品の昂騰は依然なるも南米の[illegible]

續々喚起

米國向商談の新[illegible]

大部買進

約三割方[illegible]

協定後の粗布

[illegible]

亂賣狀態

持荷輕減[illegible]

人氣振興策

鮮商間[illegible]

燐寸は市價維持

[illegible]

益々不振の傾

[illegible]

反撥

持主の懷合[illegible]

飽く迄現下の四十五圓を維持

[illegible]

石油現建値維持

石油市況は引續き沈靜にて[illegible]

正米の眼先

多少小弛み氣なりしが昨今又々堅調となり[illegible]

建値は兎角維持ならん

[illegible]

刷子類益々強調

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

五日前場

四錢安の入電

[illegible]

市場零聞

▲又復動かず、大阪の下寄に買聲多し[illegible]
▲氣乘りせず[illegible]
▲大手筋の見送り[illegible]
▲中限解商內[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長四二〇、七三九

取組高も追々減少

▲期米眼先觀
夏海上第一期戰は目先正米の壓迫
開始せらるゝ中限
動機俟て手控へ
新規商內少なく

[illegible]

仁川米豆取引所

五日の六月限

前場	寄付	十圓八十四錢
	高値	十圓八十二錢
	安値	十圓八十三錢
	引け	十圓八十一錢
	出來高	六千石
後場	寄付	十圓八十二錢
	二節	十圓八十一錢
	三節	十圓八十一錢
	四節	十圓八十二錢
	五節	十圓八十二錢

賣買取組高

四月限	五百五十石	
五月限	四萬九千三百石	
六月限	九千七百五十石	

	出來値	比較
四日後場	一〇、七七	前日と比較　七高
	一〇、八三	一安
	一〇、八四	一安
	一〇、七七	四高

仁川米豆取引所仲買人 利仲買店 電話長九〇五番 電信略號

北濱たより

株式の眼先

[illegible]

小賣白米

上白米	十三錢五厘
白米	十三錢

演藝案内

明治町 浪花館 電話二六〇番 山本松子一行
大正館 櫻井町 電話八七三
壽座 本町 電話五七八
黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七
壽館 電一〇五〇 町
[illegible]

告 京城分會員
來七日午後七時於憲兵隊懇話會兼村井小山田兩大尉送迎會催度旨來會出席者六日迄乞御通知會費金五拾錢
帝國在鄉軍人會京城分會

一日迄の店員 小林利三郎
右之者店都合有之解雇致し候に付自今弊店と一切關係無之候間此段御得意諸彥へ謹告仕候也
京城若草町

四月一日 川原商店

建物競賣廣告
一桃山遊廓稻荷神社前瓦葺二階家一棟七十九坪二階六十六坪右建物ノ現狀ニ於テ入札競賣ス但保證金五十圓也時場所ハ四月十日午後一時右廣告ス
四月五日 京城銀行

病で時々ヒキツケ種々の手當も效なく困難の方は切手三錢送れ永年の病も白宅にて人知れず秘密になおす最善の良藥を知らせ致し升
名古屋市中區南小川町 救生館
てんかん

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品
糖化力最强にして効力常に一定す
發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衞 大阪平野町二 岸田市兵衞 東京本町四 田邊元三郎

重石、水鉛
多少に不拘高價現金買入可申候
京城南大門通四丁目
合資會社 高田商會京城出張所
電話長二四二番

開城白蔘尾蔘大販賣
人蔘製藥 人蔘菓子 鶴細工 朝鮮土產一切 御館
京城本町二丁目郵便局橫 製造發賣元 津村兄弟商會 電話一四八〇番
人蔘エキスは下記諸病に特効あり御愛用の上精力を增進せられよ
警務許可濟
特効能 神經衰弱、老衰、腦病、肺病、痔病、子宮病、胃病等、發不良より起る諸病外用に使ふもよし
定價 金三十五錢 金六十五錢 金一圓二十錢 金二圓

カンナ ダリヤとサヤ
本園のダリヤは既に定評あるダリヤとカンナの種類の豐富なること栽培段別の多きは半島第一位なり其他蔬菜、草花種子、果樹、殖林苗木等定價表無代進呈す
京釜線鳥致院 朝鮮興農園
電話長二七番 振替京城三七番

タンセキ特効藥
呼吸器散　呼吸器丸
如何に重きタン、セキも本劑を服用せば胸苦きを和げ、タンを柱り咳を鎭め安眠の効最も著大也
主効 かぜのたん、せき、喘息のたんせき、呼吸苦しく咽頭の腫れたるもの等に効有
價 十錢 廿五錢 四十五錢
大阪 東京 丹平商會 賣捌は全國にあり

齒科 橋本齒科醫院
京城南山町三丁目（京城電氣會社横入る）電話二九〇二番
齒科醫學士 橋本清次郎

外四名の仲買人より殆ど取引に[illegible]して一萬二千圓を詐取して姿を晦まし一時日本橋區馬喰町の某家に潜伏[illegible]夜十一時頃大江橋北詰にて前記三郎に人相必適の男を引捕へ本署に同行取調[illegible]

[illegible]に支那人嬰兒の屍體を遺棄しあるを發見し其旨龍山分隊に届出でたるよ

港新羅丸二等客
[illegible]

[illegible]

越後大評定

第百七十九席　早川貞水口演

元起の當惑　一

そこで光圀公立上つて見ると、佛壇の中には葵の御紋付いたる立派な位牌が飾つてあつて『淨光院殿森巖道上大居士』とある『さては狩人は一時世を忍ぶ假の生業、其實は越後守の家の者と見える、然ればこそ主人の人品と云ひ、女房錦木の物言ひ立振舞、尋常の者ではなかつた。何れこれは明日ゆる〳〵身の素性を尋ね時宜に依れば江戸表へ同道して手當して遣はさん』と思召して、佛壇に向ひて念珠つま繰り、好い加減に回向を終り　光『さて主人、最う予は御免を蒙り伏せり度いと存ずる　狩『ハア何卒御寢みなされて下さいまし、

夜具の調度とて御坐りませぬが、是にて御不自由でも……と出したるを見ると大きやかなる蒲團、當國では寒氣を凌ぎますにはなか〳〵布團や袍衣ぐらゐでは凌げませぬから厚い蒲團が出來て居ります、是へ御入り遊ばせ』と女房錦木が最と親切に御寢就遊ばせ申しました、所が寢就いて見ると、其どうも温いと光圀公よい心持ちに御就眠になる、從で夫婦の者は　狩『今宵熊穴から御伴れ申した御出家様は、どうも尋常の御出家ではない、何れ高貴の方であるから明朝は早く粟粥でも拵へて上げなければならぬ　女『それが宜しう御坐います』と話して居る所へ『御免下され』ドン〳〵ドン〳〵門口を叩く　狩『ハテ何誰で御坐います。○『私は師の坊と城山へ參り途中で師の坊の行衛を見失ひ、イヤもう彼方此方と尋ね廻りしが如何なされしか一向行衛が知れず、餘りの寒氣に耐へ兼ね困じ居る所へ此方の燈火の洩るゝを幸ひ暫し願うて憩はんと存ずる、御何と深夜御迷惑でも御坐らうが、御許し下さる譯には參らぬか　狩『コレ錦木師の坊と御せらるゝは最前の御出家に違ひあるまい。早く戸を開け御通し申して進せろ』一重ね〳〵御出家の御來臨今日は先祖の佛事の當日是が實の佛緣と申すのであらう。と云はれるから女房門口を開け『サア此方へ』と案內すると　狩『貫僧が師の坊と御せらるゝ、此御笠と杖の御主人では御坐らぬか　○『イヤ如何にも是は師の坊の所持の品々、それでは師の坊には御當家へ御泊りなされてか　狩『如何にも　○『アヽそれで始めて安心いたした。して師の坊は何れに在らせられるや　狩『餘り寒さが嚴しい故美味くは御坐らぬ手造りの濁酒を差し上げた所、心よく召上り、最前から一室に御就眠遊ばして御坐る　○『それは御親切忝ない　狩『何は兎もあれ寒さを凌ぐには焚火が第一、先づ〳〵圍爐裡の傍へ御寄りなされえ』と云はれて、出家は圍爐裡近く座を占める、主人は御馳走振りに薪を折りつゝ圍爐裡へくべる、所がなか〳〵生木と見えて燃へ上らぬ煙が濛々として家中たち籠りますから　狩『コレ錦木餘りに煙るからそこの窓を少し開けてくれ　女『ハイと立て妻の錦木が小窓をがらりつと明る

婦人科 産科
二宮醫院
京城壽町四一
醫學士 二宮亮吉
電話一二〇一番

お聞きなさい

▲辭令から問題　岐阜縣病院醫員藤原宗三郎といふ人が、今度縣廳から岐阜病院主任といふ辭令を受取つた病院主任といふのは頗る要領を得ない辭令で、それを貰つた本人も譯が解らず、今では同病院での一問題になつて居るさうである

▲羽織袴の床屋　古稀既に在る山縣公或る日山口家扶に命じ理髪師を呼ばせたところが小田原靑物町の高野英松といふ床屋が公爵の御下命は一生の光榮と羽織袴一著に及び新しい器械を持つて伺候し恐る〳〵公の前に平伏すると公はヂロリと床屋に眼をくれて『お前は床屋だらう床屋が仕事するのに羽織袴を著けるとは不心得千萬だ人は身分に應じた服裝をしないと却つて惡感を與へるものだ相分つたかッお前のやうなものには自分の頭に手を上げさせられないから歸れッ』と飛んだお目玉

▲四年間一日一食　大阪市東區道修町一丁目大阪賣藥組合の理事田淵知秋氏はこ以前非常な胃病と頭痛とに惱まされて居たがいろ〳〵藥に手を盡した甲斐なくだん〳〵惡くなる許りであつたので、遂に節食を始めそれが効果のある事を知つたので、以來四年間といふものは一日に一度飯を食ふだけで押通した處、病氣は全快する剩けに體量までが二貫目あまりも殖えたさうである。

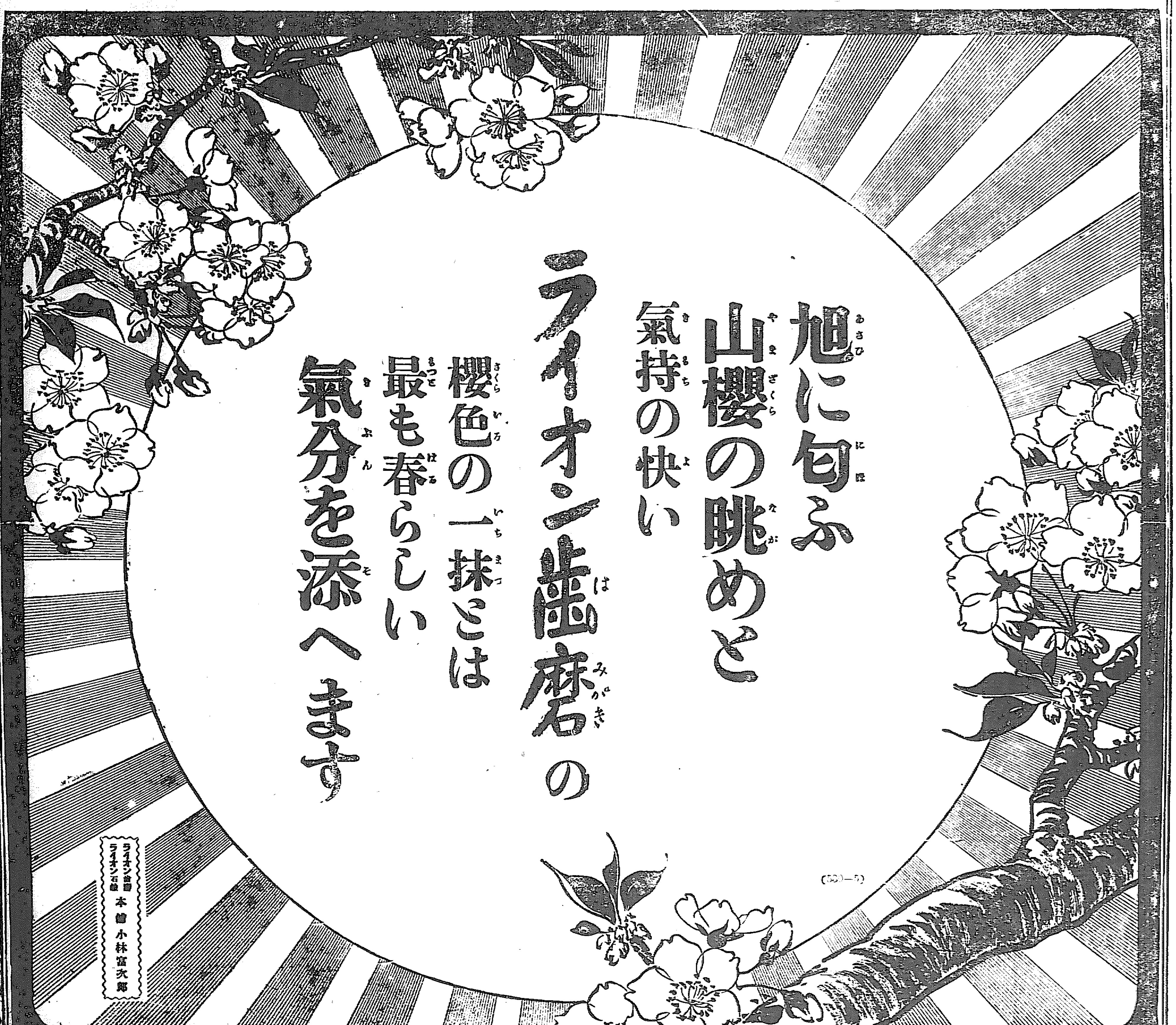
▲石井外相の茶代　石井外相は千葉縣長生郡の出身だが此郡からは五名の博士と五十餘名の學士を出し私立大學の出身は二百名を超えてゐるさうだが此程外相歸郷した際茂原の旅館大和屋に一泊し茶代を五十圓奮發した宿屋では田舍には珍らしい多額な茶代なので勘定違ひではあるまいかと恐る〳〵確かめると外相大きう頷いて『少いがとつとけ〳〵』

四月七日九星　舊三月五日　甲辰　木命五黃　八方破　先勝

▲五黃●難を避けと思はゞ事有る日新事見合南方は吉路銀なし▲六白●心配一時に繼くの日萬進で利有待人良報を携へて來る▲七赤●運増長の日轉居開業入學名弘求職金融訴訟貸金關係等吉▲八白●難はれ迷惑の事有り新事手控萬事は吉一切のせわ事せぬがよし▲九紫●貸賞の日轉居行商入學名弘求職錢造作件縁組等皆吉物に齧の日▲一白●納得のゆかぬ事有る日新事手控萬事は吉買物に用心せらるべし▲二黑●意外發して損なる事有る日注意新事手控常の事は吉▲三碧●短氣味の事有る日新事手控萬事は吉縁介謂印等ね禁ず▲四綠●不似合の事有る日新事手控萬事は吉女子は行儀を守らるべし

滿洲 五龍背溫泉
安奉沿線五龍背驛を距る二丁
閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
風光絕佳にして一大樂園地なり
諸病に特効あり理想的療養場なり
宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

製材機械原動機
其他一切付丸鋸共
賃貸又は割安賣却
鑛山機械專門製作
南大門通五丁目電話一〇四番
中根商會



京城日報

六日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢 郵税共 ／ 廣告料 ／ 發行兼編輯人 ／ 印刷人 ／ 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

大阪期米特電(五日) ／ 大阪三品 二二〇〇 二〇一、五〇 ／ 仁川米豆取引所 ／ 六月限 九千七百五十石

●乘馬俱樂部の送別會

京城日報

商工機關
會議所議員招待に就て

三日夜總督官邸に於ける、京城並に仁川商業會議所評議員の招待會は、近來の一新事實にして、當日は昔に一堂の裡、官民互に胸襟を披いて、歡語談笑の間、自から領會するところ多大なるものありき。

寺內總督は、其の招待會に於て、一場の訓示的演說をなせり。諄々として懇切周到、實に春風の堅氷を解くが如き温情を見る。其の商業會議所の職分を說き、當局者としての希望を述ぶるに於て、最も公正なる見解より、商工機關の性質が、極めて明確に判斷せられたるを見る。思ふに當夜の賓客たりし會議所議員諸子は勿論、一般の人士と雖も、吾人の此言を否定し能はざるべし。

客歲七月朝鮮商業會議所令の制定せられ、京城並に仁川の會議所が、率先して新令の下に組織せられたる當時、吾人は新商業會議所の使命職分の、之を舊時の團體に比すれば、截然別個のものたる所以は、之を縷述する所ありき。而して新會議所議員に對して、總督が親しく其の期待する所を說示せるは、今回を以て最初となす。然かも、吾人の會議所及び其議員に對して言はむと欲する所は、總督今回の演說に於て、遺憾なく、且つ力強く說き悉されたるが故に、之を布衍するの外は、復茲に附言する必要もなし。

夫れ商業會議所は、一般商工業の改善發達を圖るの團體にして、洽ねく商工業の狀況を調査して、其改良發達を圖るは、汎く販路を查覈して、其を促がし、殊に重要なる職分たり。商工業の實況調査と云ふが如きは、政府者の指導誘掖と、會議所の努力斡旋とを俟つて、始めて其徹底せる效果を得べく、商業會議所の眞價の認識され、其職責を全うすると否とは、懸りて此に在り。

商業會議所は、本來一般商工業の改善發達を圖るを目的とし、決して政治と關聯すべき性質を有するものにあらず。從て其の仕事は、最も冷靜に、最も着實に、最も穩健なるべく、決して煽動的、挑發的團體行動を以て、商工業者を迷はすが如きことあるべからず。殊に朝鮮の如き、其の商工業が健實の發展を要する所に於ては、最も此點に留意せざる可らざるなり。

歐洲の戰亂が終局したる曉、我が朝鮮の如きも、如何の經濟的影響を蒙むるべきや。工業品と販路の問題は、今日より最も研究を要すべく、當局は既に工業試驗に於て鋭意施設する所あり。過日の招待會に於て特に其成績の展示解說せられたるもの、其間深厚なる意味の存せずんばあらず。會議所の諸子必ずや會得せしならむ。

吾人は京仁會議所員招待會が、其代表者の感想に現はれたる如く、極めて將來に良好の結果を齎らすべきを喜び信じ、他日更に其他各地の新會議所の整備を俟ちて、改めて斯種會同の一般的に催さるゝに至らむことを期待す。

隣邦時局の觀察(七)
布施知足

尤もこれだけの展開では未だ果して陳宦が竟に納谿の云ふが如く民國第一等の人物だと云ふ證據にはならないが、あの傲岸容易に人に許さない陳宦が借氣なく一等の席を許したのを見れば兎に角餘程觀所のある人に違ひない。少くとも雲南軍の三首領に勝るとも劣らぬ材武の士であらうと思はれるから云ふ人間を對方に廻してしかも雲南境から成都まで約三百五十里の宿々で戰をした上更に成都で雌雄を決しなければならない况んや其勝敗は何れにあるやら計り難い戰である。革命軍の方でも之に氣が附いたものであらう、雲南を出た當初から東川昭通敍州と進んで普通なら其處から嘉定の方へ出さうなものだのに却つて東に折れて南溪納溪から合江綦江と進んでゐる、尤も一隊は納溪から瀘州富順隆昌と進んだやうだが之も此處から成都街道の內江資陽と云ふ方へは向はないで矢張り東に折れて榮昌永川と進んでゐる樣子である。之で見ると革命軍は成都進擊の方は斷念して重慶の方面に向ふ心算としか思はれない、處で重慶には例の討伐第一軍の司令官曹錕將軍が部兵四萬を率ゐて潛在してゐるから永川榮昌と近い處まで進んだ革命軍も中々重慶に攻寄るわけにはゆかない、永川方面に來たのは獎に永寧で叛いた四川第二師團長劉存厚の部下だと云ふが何れにしても革命軍の方では糧食や武器の供給上もう太分疲弊して來たと信ずべき理由がある、劉存厚が革命軍に投じたのも全體の上から觀ると割合に影響が無かつたもので、元來劉氏は元四川革命黨の首領熊克武の部下で兼てから態度がどうも怪しいと云ふので將軍陳宦に斥けられて永寧に逐ざけられてゐた、政府の方では劉が革命軍に投じた場合を豫想して內々の用意は出來てゐたらうし、其上永寧と成都とは距離が餘程遠いので成都の形勢は劉の內應の爲に何の變化を受けなかつたやうである、之で革命黨の計畫は又もや失敗した、元來革命軍はどの位軍費を使つてゐるか正確な數字は殘念ながら分らないがしかし大體の推算をするだけの材料は無いでも無い、其は政府軍の軍費から算定するのでつい先達ての報道に據ると政府は新に直隷山東からの選拔兵を中堅として新に十萬の討伐軍を組織する軍費は一箇月五百萬圓の豫算で政府の見込では今度の動亂は六箇月で鎭定する筈だから乃ち總額三千萬圓である此中二千五百萬圓は政府の財政で融通がつくが殘額五百萬圓はどうしても紘出す途が無いそれで當局者は太分困つて居ると云ふ話であつた、此五百萬が大體から觀て信を置き得べきものである事は之れと前後して政府が湖南の某利權提供の約束で米國の某資本家と五百萬圓の借款交涉中であると云ふ報道が來たのに徵しても知れると思ふ、そこで算用して觀ると十萬人一箇月の軍費五百萬即ち一萬人五十萬圓の割合である、但し之は餘程內端に見積つた勘定で日本が北淸事變の時一個師團一箇月の費用四百萬圓であつたのに比べるといくら支那人でも戰時一萬人につき八十萬圓乃至百萬圓は要るだらうと思はれるがしかし今は兎に角五十萬圓の計算で雲南軍約三萬人一箇月の費用百五十萬圓である、動亂が始まつて以來既に三箇月餘りの間に約五百萬圓は要つた勘定になる、此金額は抑何處から出て來るだらうか。

放浪漫記
大谷光瑞 (二月十五日ボンベイに於て)

(承前) ナシックはナシック驛(ボンベイよりカルカッタ及びデリーに至る本線)より四哩を距る、ナシック町の南西四哩に在る小丘に於るパンヅレナと名くる石窟寺あり、ナシック縣の首邑にして印度敎徒の西部に於ける最聖の地と稱し居民富熙參拜者頗る多し鐵道驛より四哩は馬車鐵道を有し附より石窟寺に至るはボンベイ、アグラを通ずる國道に由るを以て平坦にして車馬の驟走に最も便なり小丘は最高頂海拔三千尺にして平地上約一千尺を出づこの附近は平均二千尺の高原なり、こす丘は殆ど國道に近接し石窟寺は丘の中腹平地上四百尺の附近に列れり一般行遊の人士も決して行き難き地にあらずカーリーはロナウラと名づくる驛(ボンベイよりプーナ及びマドラスに至る本線)の西四哩半程にして山下よりプーナ、マドラスに至る國道を用ふ三者中最も行遊に便なり時にロナウラ驛は西ガート山脈の西崖の上にあるを以てガート上下の爲必ず機關車を換ふるを以て如何なる急行列車も停車を廢する能はず且つボンベイより三時程にして汽車自動車共に用ふべし故に遊覽者の多きも三者中第一なりとす今三者を比較するにアジャンタ最も壯大なり馬蹄の如き石灘に彎曲せる內面の絕壁に沿ひ二十九の石窟を疏鑿せり素より二十九洞盡く同時に開鑿せるものにあらず印度に於ける學者の言によるに西曆紀元前二世紀より紀元後七世紀の間に時を逐うて鑿開せりと云ふ其結構皆當時の精舍僧房の狀にして唯屋上のみを缺くに過ぎず故に建築上よりするも印度の佛敎建築の唯一標本たりとす其細を記するも唯煩を重ぬるに過ぎず寧ろ數葉の寫眞を瞥見するに數千言の文字に勝るを以て今之を贅せずこの洞中は盡く壁に畫を有せり所謂アジャンタ壁畫と稱するもの是なり概ね毀損し朦朧辨じ難しと雖も猶紅紫黃白燦爛目を奪ふもの無きに非ず以て當時の風俗を知るべく本より美術上の好標本たるは論を須ゐず又歷史上の珍寶として世界に誇るに足るものなり近時印度政府大に保護を爲し洞扉を加へ鐵網を施し牧豎弓兒の欄入を阻み看守人を置き之を衞れり之により將來の毀損は幸に微弱なるべしと信ず

北鮮の山水
八、咸南の浦輪
東拓理事 村田俊彦 (28)

明太魚(續き)

明太魚の今日の用法は、乾魚と爲すが其最も主たるものなるが如し。油を製せらるゝと雖も、未だ廣く行はれず。明腸の鹽辛も其需要自ら限りあり。何更に其利用方法を講じ、或は其販路を擴張し、以て其價を增さしむる方法無きか。凡て生產經濟の要は、獨り產物の量を增加せしむるのみならず、其質を改良し、又は他に利用を求め、即ち用法の改善及び添加を行ひ、之を廣く供給し、以て其價格を貴からしむるに在り。鰯は肝油の原料となりて其價を高めたり。大豆落花生も製油の途發見せられて重要品となれり。桐油は支那に於て素と船底の塗料なりしが、獨逸に於て更に利用法講せられ、其價を增進せり。鮭は燻製罐詰等の用法行はれ其の販路を擴張せり。余二十餘年前北海道に遊ぶ。當時鰊は肥料となすに過ぎざりき。多少の燻製漸く試みられざりしにはあらざるも、至て微たるものなりき。而して其の漁獲甚だ多く、或は捨てゝ顧ざりき。當時其の用法を改善して、其の價格を高むべきを思ひ之を道人に告たり。道人以て肥料以外爲す無しとせり。然るに今や漸次其の用法は改善添加せられ、北海の富を益しつゝあり。余は專門家にあらず、今日の用法以外の事につき之を語る能はずと雖も、豈是無しと云ふべけんや。製油の如きも、一層力を盡すべき餘地存せざるか。此等の事を遂行するには、愼重なる注意と、熱心なる攷究と、該博なる視察とを要す。吾人は切に之を希望す。鮮て又思ふに、單純なる乾魚は、民人の富度進み、交通の便益開くに從て、其の需要を減少すべき傾向を有す。中世歐洲の山間地方に於て、交通未だ開けず、民未だ富まず、生魚を得るに艱く、加ふるに宗敎上の思想に因り、乾魚盛に用ゐられたり。然るに此等の諸由除かるゝに從り、其需要亦頓に退減せり。明太魚に於て此現象を來すは未だ遠かるべしと雖も、是亦度外視すべきことにはあらざるなり。要するに明太魚の用法の改善、添加、販路擴張を說く、積極的消極的の二因に基き、而して先づ主として其前者に依り、思切なるものあり。明太乾魚の價に就き、之を京城の古老に聞く、二三十年前二十本十錢餘なりき。而して今同質のもの二十二錢餘なりと。然らば其價格上騰せしやと云ふに、必らずしも然らざるが如し。思ふに物價上騰せりと云ふよりも、貨價下落せしものならん。二十本十錢時代にありては、米一升五合八錢餘にして、今日米價低き時も尙二十錢前後なるを以て見れば、米を標準とせば明太乾魚は遙かに其價を下したるものなりと云ふことを得べし。京城の例を以て、全道皆然りとは稱すべからざれども、大勢は之れを推知することを得べし。乾魚の價少々上りたりとて、鮮人に苦痛を與ふるものにあらざる一證として、今玆に之を揭ぐ。假令前代より其價を上すとするも、他に之に代るべきものあり、此點は敢て憂ふるに足らざるなり。

四月一日の『女眞の碑』中、女眞の建國●及び女眞文字の製作を堀河の朝とせるは鳥羽天皇の朝の誤、同じく女眞文字の所に、一千八百餘年前とあるは八百年前の誤記

戰後露國の貿易(下)

△獨品發展の所以 次に獨逸の商品が露國に發展したる所以は、取引上の利便多きに依る●其第一は商品の廣告手段に巧なること是なり●獨逸人が一の商品を賣込まんとするや、必らず需要者を待て之を提供する如き緩手段に依らず、先づ商品の性質、用法、價格並に着荷期日等を極めて正確に對手國の普通文を以て記載し、各商人をして笨なからしめ取引に必要なる條件を知悉せしむ。露國商人の如き遲鈍なるものに對しては此一事既に非常の便利なる上に、第二には所謂巡回販賣員なる者ありて多數の見本を携帶して各地に出入し、甲乙の間斷なく商店に至りて說明勸誘に力めて至らざるなく、更に自國金融機關の設備を利して長期貸與の法を行ふ●是露國商人等が心中獨逸人を愛好せざるに拘らず彼の商品を需要したる所以なり

△戰後の用意 以上は戰前の事情なり、戰後は其の著しき變化を生ずべきや勿論なり、然れども若し各國人の爲す所に大なる變化なきに於ては、幾年ならずして復戰前の狀態を生ずるの恐なしとせず、故に吾人は露國商人に告ぐ『曾て獨逸人の供したる實益と利便は大に諸君の情に適したるべきも決して露國の利益にあらず●今後の諸君は安逸を貪るの弊を去て宜しく世界に馳騁し以て需要供給の道を一新すべし』と、又同時に友國の諸君に望む、露國の商人は二百年來獨逸人の懷柔に弄せられて殆ど活動の能を失へるものなり、今にして突然嚴格なる取引方法を行はむとするも必ず苦情百出、終に再び獨逸人手中のものたるに至らん、故に暫く忍て獨逸人の施設に鑑み、便宜之を適用して以て諸君の商品を輸入するの方略を立つること即ち是なり、否らざれば露國の市場は遂に獨人の壟斷を免れざるなり。

大正政局史論
蘇峰 德富猪一郎著 定價金貳圓 郵稅十二錢 菊版四百卅頁 總クロース

大正政局變轉推移の遠因近因政黨分合消長の千波萬波其間に活動したる幾多政治家の一進一退微に入り細を穿ちて殺活縱橫一世の耳目を驚倒す洵に是れ政局史論中の白眉也巨擘也

大販賣所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

會員募集
新學期開始
工業講習錄
講師□東京高等工業學校敎官三十餘名
特長□東京高等工業學校附屬補習學校と同程度、此の講義を讀めば同校について學ぶと同一の効力あり、講義易く會得極めて容易なり
建築科
見本呈上
この講習錄は講師諸先生多年の經驗を重ねて執筆せられたものにて他に類なし、工業學校は之を敎科書とし、建築業者は大工徒弟の指導書として之をすゝむ。科目は建築沿革、建築仕樣見積、西洋家屋構造、日本家屋構造、材料、建築製圖等なり。
建築科の外機械科、電氣工學科もあり
入會の好機 今入會者には特典あり (雜誌工業生活進呈)
東京市小石川區表町 振替東京一六八〇番 大日本工業學會

營林廠木材販賣
弊社は大阪淸水榮次郎氏と連帶契約者となり朝鮮總督府營林廠木材の大口取引契約を結び其業務は弊社に於て擔當し致精々御便宜相計り可申に付御註文被下度候尙特約店も左の通り相定め置き候に付最寄り各店にて御買取被下度願上候
京城府黃金町 三井物產株式會社京城支店木材部

特約店
京城岡崎町 大二商會
仁川 大二商會
京城旭町一丁目 小森材木店
京城黃金町三丁目 木村商會
大邱元町 杉原材木店
平壤鎭南浦 中村組
釜山埋立新町 阪田商店

第七回新學期開講
普通文官養成講義錄
日本大學法制學會編
立身の捷徑は「普通文官」となるに在り全國無數の普通文官の席は年々空席を生じて有爲なる青年の來るを待つ一日も早く就職して獨立せんとする人下級より一躍して高級の官吏とならんとする人は速に本講義錄を得よ本講義錄は斯界一流の碩學平易懇切に講述し及第を唯一の眼目として編纂せられ年々多數の合格者を出しつゝあり。
講師 中村法學博士 靑木法學博士 坂谷大審院判事 其他斯界第一流の碩學 淸水法學博士 小林法學博士 柳川大審院判事 十數氏 副島法學博士 横田法學博士 山岡司法參事官
名譽顧問 正三位尾崎行雄 ●卒業一個年 ●講義錄見本付會則(第無代進呈)
會長 錦雞間祗候貴族院議員法學博士 石渡敏一 ●入會金全免 獎學金進呈 其他大特典あり
入會の最好機來れり
東京神田駿河臺袋町(電話本局三〇〇二、三七〇七) 日本大學法制學會出版部

○佛軍勝に乘じて益奮戰
ヴォー地方に於ける佛軍の優勢

巴里來電公報に曰く、佛軍はヴォー地方に於て優越の地位を占めつゝあり夜間繼續せられたる戰闘は我軍に有利なり我軍がボアカイシッテの陣地を奪取せる事は確實なり獨軍に三百米突の戰線にて續け樣に攻勢を取り來り次で少數の攻撃隊強襲せるも我砲火は獨軍に甚大の損害を蒙らしめたりローレインの我砲列は敵の戰線に火災を起さしめたり獨軍はブラモン地方の我陣地に對し突貫を試みたるも我が銃火の爲め擊退せられたり獨逸飛行機一臺ノヨン附近にて墜落し飛行家は捕虜となれり又敵の一飛行船はダンキルクに爆彈を投下し市民二名を殺し四名を負傷せしむ(倫敦電報)

○和蘭急遽軍備を整ふ
獨軍の侵入を豫め防がん爲め

和蘭は急遽軍備を整へつゝあり原因は聯合軍が獨軍前線を突破する結果獨軍が勢ひ和蘭領土內に侵入するに至るべき危險あるを以て豫め之に備へんとするにあり(倫敦電報)

○輸入禁止と日本

英國政府が今回品目を限りて輸入を禁制したるに對し我國の商工業に及ぼす惡影響少なからず遂には破產者を出す可き憂あるより當局に於ては是が救濟法に就き講究中なりし所數日前英國政府に對し是が緩和策に就き交涉を開始したりと(東京特電)

○名古屋御著輦

天皇陛下には五日午前七時三十分奈良行在所御出門同五十分同驛御發輦同十一時五十五分名古屋驛御著輦直ちに名古屋離宮に入らせられ御一泊の後翌六日午前七時三十分離宮御出門八時名古屋驛御發輦午後五時東京驛著御還幸あらせらるゝ豫定にて當日は在京近衞第一旅團各部隊は沿道兩側に堵列奉迎を爲す由(東京特電)

○各師團長參內

五日より開會せし全國各師團長會議に參列の秋山近衞師團長以下各師團長は來る八日午前十一時三十分宮中に參內表御座所に於て天皇陛下に拜謁被仰付大島陸相、上原參謀總長、一戶教育總監參列の上各自管下の軍紀風紀教育等に關し奏上を爲し終て陛下には千種間に於て伏見、閑院兩宮殿下を御召の上山縣、大山、奧、長谷川各元帥以下各師團長等に御陪食被仰付るゝ旨御沙汰ありたり(東京特電)

○經濟調査會大綱

經濟調査會の大綱は四日閣議にて決す之れ戰後に於ける國政の基礎を鞏固たらしめん爲めなり(東京電報)

○鐵道公債資金

今回發表されたる四平街鄭家屯鐵道

○日露連絡運輸
露國側委員通過

來る十日より東京にて開催の日露連絡運輸會議列席の東淸鐵道側委員一同は相携へ六日哈爾賓發七日午後八時五十分京城通過の鮮滿直通列車にて東上の筈なり

○連帶區域擴張
鮮鐵と郵船商船

朝鮮鐵道對日本郵船及び大阪商船貨物連帶輸送區域に就ては豫て各當事者間に於て協議中なりしが頃日其區域擴張の件協定來る十五日より實施の事と成れり從來の協定區域及び新擴張區域對比左の如し

(對日本郵船)

新區域
一、大邱、草梁經由 大田、京城、仁川、鎭南浦
一、元山、草梁經由 津浦、元山相互間

舊區域
一、鮮鐵各驛と元山、草梁經由 元山相互間
一、各驛と城津、淸津、雄基相互間

(對大阪商船)

新區域
一、大邱、草梁經由 仁川、鎭南浦、城津
一、津浦、元山相互間 草梁と元山相互間

舊區域
一、各驛と元山 草梁經由元山相互間
一、各驛と城津、新浦、雄基、淸津相互間

○鮮鐵輸送旬計

三月下旬中に於ける朝鮮鐵道貨客輸送狀況左の如し

	本年三月下旬	前年同期對比
乘車人員	一六〇、〇四六人	一四〇、一七八
小手荷物斤數	三六二、三三一斤	五〇、四八四
貨物噸數	五五、二五五噸	一四、七六三
客車收入	一三五、〇四〇圓	一五、六〇〇
貨車收入	一二八、七六〇圓	四、六二〇
運輸收入	二六三、八〇〇圓	二〇、二二七
一日一哩平均收入	一三三圓八三錢	一四五五

○海軍佐官轉補

五日海軍に左の如く轉補任免ありたり(東京特電)

横須賀鎭守府附被仰付 海軍大佐 關 重孝
横須賀海兵團長 海軍大佐 岡田三藏
兼補橋立艦長 津輕艦長海軍大佐
免本職 補鎭海灣要港部參謀長 伯爵 佐野常羽
補津輕艦長 海軍大佐 伊集院俊
免本職補音羽艦長 橋立艦長海軍大佐 大石正吉
兼海軍教育本部出仕 海軍技術本部技術會議員 海軍機關大佐 重村義一
免本職並兼職補第四戰隊機關長 第四戰隊機關長 機關大佐 栗田富太郎
免本職補海軍大學校教官兼教育本部部員
休職被仰付但橫須賀に滯在すべし 海軍機關大佐 東永五郎

○三艦授受終了

露國に讓渡すべき相模、丹後、宗谷の三艦は四日正午各軍艦旗を撤去し右終つて彼我の間に無事授受を了せりと山中特務艦隊司令官より海軍省に電報ありたり(東京特電)

○補缺選擧公示

長野縣に於ける翠川鐵三氏の補缺選擧に對し一木內相は四日選擧命令を發したるに依り赤星同縣知事は來る二十三日補缺選擧を行ふべき旨公示せり(東京特電)

○朝鮮神社造營計畫
經費一百萬圓=大正六年より四箇年繼續の事業

臺灣に臺灣神社あり、樺太に樺太神社ある如く朝鮮にも亦朝鮮神社の必要あることは夙に當局者の認めたる所にして併合後早くも計畫されしものありしが種々の事情のため今日に遷延し居れり然るに今回其機會來りしものゝ如く當局は大正六年度より四箇年の繼續事業として六年度に於て先づ二十五萬圓の大工費を計上し漸次に四年間に一百萬圓の經費を投じ官幣大社朝鮮神社を造營することゝなりし由なり仄聞するに其設計大要左の如し

▲祭神は明治天皇 最初の計畫によれば朝鮮神社は神功皇后を始め其の他十一體の祭神を擧げ宮內省及內務省又は總督府等と內々審議を重ねたるが宮內省と其他の官廳の間には多少意見の一致せざるものありしが 明治天皇の崩御と共に奉祀神鑑についての懸案は釋然として解決し其の祭神は 明治天皇を奉祀することゝ決定せり尙恰かも臺灣神社が伊勢太神宮と共に北白川宮殿下を合祀し祭神二座となしたるの例に倣ひ或は神功皇后をも合祀し奉るに至るべしと云ふ

▲最初の社殿候補地 社殿の位置は設計者大に苦心せる問題にて第一候補地としては景福宮の裏手北岳山の中腹を開鑿して社殿を築かんとするにありしが總督府は早晩景福宮內に移轉す可きを以て若し北岳山腹に朝鮮神社を設くるに於ては京城市街の中心點は北方に移り折角今日迄拮据經營に成れる本町通り一圓を寂れしむる虞ありとし之れを中止し第二候補地を南山に定めたり

▲南山に奉祀と決定 『君南面し臣北面す』と稱し神社は大部分南面又は東面して設けらるゝものなれば第二候補地たる南山に就ても種々の故障起りたれど到底南山に百萬圓の神社を建立して南面せしむるが如きは不可能なるを以て箱崎八幡宮の北面及び嚴島神社の西北面せる例もあり且つは日本民族が將來發展は西北面なると倭城臺の地が日本人移住の根據地たりし理由とにより北面して造營するも差支なきことゝ決定を見るに至りたり

▲神社設計の大要 新しく朝鮮神社の位置は決定せるが其の造營の方法については本殿は總督官邸裏山の松林を開きて此處に神殿を建て社務所は總督官邸を改造して用ひ現在の京城神社の附近より總督官邸裏手に至る間を神苑となし市街と神社との連絡は黃金町より永樂町を上り本町を橫斷して倭城臺に至る一帶とし南山全部を境內と定めらるべく倭城臺各官舍を取拂ひ神泉川の流に沿ふて南山に達するものにて道路は十五間巾とし此土工費に約二十萬圓を投じ日出町邊に一の大鳥居を設け其より本殿に至る間は何百個の春日燈籠を設くる設計なり

▲京城神社は合祀 朝鮮神社は京城に設けらるゝも京城のみの氏神には非ずして朝鮮十三道の守護神なれば內鮮人共等しく此氏子として奉仕する次第なり、然るに京城には從來京城神社ありて約二十年前大神宮の神璽を奉祀せるものなるが朝鮮神社竣工後は京城神社を合祀して朝鮮全體の氏神たると共に京城府民の氏神として神事を行ふに至る可しと

○移民新傾向
東拓 家族を伴ふもの多し

東拓第六回移民は本年早春來續々渡鮮しつゝあるが內地も朝鮮同樣餘寒嚴しき爲め出發を延期するものあり又農村不景氣にて渡航費金策に窮するものゝ如きが會社當事者の談に依れば第五回移民迄は單身若くば夫婦等多く其の兒女若くば老人等相率ゐて來る者比較的少なかりしも本年は進んで家族的集團者の來るもの多し多分朝鮮の事情の漸く內地に紹介されたるに因らむと

□此趣旨を徹底せしめん
仁川商業會議所會頭 奧田貞次郎氏談

今回は圖らずも京仁兩商業會議所の役員全部が寺內總督の鄭重なる御招待を蒙り而も其席に於て懇切なる訓示を與へられ實に

▲面目を施して 引退つた次第である總督の訓示は『朝鮮の產業は逐年進步し其成績見るべきものあれど之を世界の趨勢に鑑みれば未だ創始の第一步を進めたに過ぎぬ殊に工業の如きは未だ幼稚の域を脫せずして一般需要せらるゝ工業品は槪して之を海外に仰ぐ有樣である全體會議所なる機關は是等商工業の發達に關しては仲介斡旋奬勵するの地位を有して居るので幸京仁兩會議所の役員と相見えたるを機とし茲に切に諸君に其努力を希望する』との趣旨より種々吾々の執るべき方針其他に就て周到懇切に注意されたのであつた而して舊會議所は組織其他一般の基礎が不完全で有つたが這般立派な會議所となり何等缺陷もなくなつたのである今般發布になつた規則に據り各地の會議所は其組織變更の認可を受けなければならないが幸にも京仁兩會議所が各地に率先して認可されたのは京仁兩地が

▲如何に重要視 されて居るかが明に窺はれ且兩地に於ける商工業の發達にそれ丈重きを置かれて居るものといはねばならぬ我仁川會議所に於ても總督の趣旨を體して其充分なる職分を發揮し又仁川市民一般に對しても當局の大方針の在る所を通ずる所は素より商業會議所としては此上一層緻密に諸般の調査を遂行し幼稚なる商工業者に對しては他近も之を指導誘掖して發達せしめねばならぬ次第である先日の招待會では工業側の者が列席した一同の者が感激した所の製作品に就き一々詳細なる說明に稱揚することがありたが多くの非常な參考となつた吾等は茲に多く言する要をせぬ、但だ將來總督の趣旨に副ひて大に發展努力して必ず其効果を現はすの覺悟であると申すより適切な言葉はないであらう

▲神社設計の大要

(see above)

○露國勳章の贈與

露國太公殿下御來鮮に際し通過に關し多大の配慮ありたりとて頃日左の如く勳章贈與の事ありたり

神聖アンナ二等勳章 鐵道局營業課長參事 三本武重
同 參事 安藤又三郎
神聖スタニスラス二等勳章 經理課長參事 加藤亞美
同 參事 和田駿
神聖アンナ三等勳章

○新任憲兵分隊長

退職踏襲の事に決したる前京城憲兵分隊長村井因憲氏後任新任京城憲兵分隊長小山大尉は昨五日入京赴任し主なる官民を歷訪し退任及び著任の挨拶をなしたり

退職せる村井大尉

○村井大尉に記念品

前京城憲兵分隊長大尉村井因憲氏は既報の如く今回滿期退職となり來る九日當地出發歸鄉することゝなりたるを以て京城加越能縣人會にては氏の名譽を記念するため送別會に代ふるに記念品を贈ることに決し既に李王職美術品製作所に此れが註文をなせる由なるが加入者は一圓以上とし申込所は大垣丈夫氏宛とせり

○移民出張所引揚

東拓第六回移民渡來案內の爲め設置されたる同社下の關及び門司の出張事務所は此程引揚げたり

古筠居士を憶ふ

本日は、古筠居士故金玉均氏の追悼會を、南山本願寺に於て開催すべしと、頭を回せば、明治二十七年春三月二十七日、氏が上海東和洋行の階上に於て、一發の銃聲と共に、萬斛の恨を懷て、空しく刺客洪鐘宇の兇手に斃れてより、既に二十三星霜、當時を追懷すれば、感慨轉た無量也。抑も氏が、日鮮の聯絡提携を期し以て朝鮮の開發を叢し、更に進んで支那の開拓を試み、同時に亞細亞文明の隆興を企てんとし、寢食を忘れ身の屢々危機に瀕するをも顧ず、家を捨て、財を投げて、東奔西走日も之れ足らずとなし、晨に李鴻章を說き、夕に日本の志士と親交し、一意東和永遠の平和に潜心せしも、此の偉大なる抱懷は、却て朝鮮及び支那頑固黨等の爲に仇敵視さるゝに至り、遂に空しく異境の鬼と化し、洵に之れ空○○○英雄涙灑襟の感深し。然れども、氏が理想の一部は、既に今日に於ては實現され、日鮮の併合を見、庶民堵に安じ、又た往年の朝鮮に非ず、氏亦た、地下に意を安するに足るべし。氏や已に業に亡きも、氏を知る者は尙多し矣。東京に於ては、去月二十八日、知己友人等に依て、芝青松寺に二十三回忌追悼會の開催あり、來會者數百人に達し頗る盛況を呈したりと、京城に於ても、目下道長官會議の爲、入京中なる氏の知己友人も多き折柄なるのみならず、第三十六帝國議會に於ても、特に氏を表彰の決議あり、尙ほ二十三回忌に相當するを以て、知己有志相謀り、本日を以て追悼會を開催す、洵に好擧なりと云ふべし。山高く、水清き、牙山海頭の墳墓に、永に眠れる氏の靈も、亦以て瞑すべきなり。

人事消息

▲宮崎洸馬氏(臨時鮮語獎勵家) 五日夜入京天眞樓へ
▲齋藤監兵衞氏(釜島商) 入京中の處五日內地へ向け出發
▲木村元雄氏(同) 同上
▲山口磯右衞門氏(木商業) 同上
▲グリン氏(英人宣敎師) 五日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ホード氏(米國軍人) 同上
▲モリダン氏(同) 同上

南言北語

獨軍が一生懸命になつて奪取したヴォー村も又た佛軍に取り返された▲一體ヴエルダン要塞は高地にあつて▲ヴォーやドーモンやマランクールは其の外廓をなつて居て▲其の內ヴォーとドーモンはヴエルダン要塞から云へば最も必要な外廓の高地である▲だから獨軍が必死になつて居る譯だ▲お獨逸のヴエルダン攻擊は却々此の位の事では手を引くまい▲殊に東部戰線では雪解の爲め行動が自由でない▲云はゞ東部戰線は鳥渡閑でしないから從つて露軍の作戰も進捗しない▲云はゞ東部で此の時期中に獨逸は進ある其處で此の時期中に獨逸は進二無二ヴエルダンを陷そうと考へである▲外廓戰が非常に成功すると愈々本攻擊に取りかゝるに違ひない現に攻擊砲彈を使用すべき大砲小銃は未だ戰線に到著して居らぬと云ふ▲で見ると獨軍のヴエルダン攻擊はまだ〳〵皮切り位の事で本物になるは之れから だ▲さればヴエルダン戰が如何に大戰爭となるかは思ふだに戰慄せざるを得ない▲ヴイラは足部に負傷して馬車に乘つて南へ南へと逃げて行く▲其れをドット騎兵隊長が米國騎兵を率ゐて追つかける▲雪の一面積つたシエラ、マドレ山の絕頂で▲雪道に一條の馬車の轍の跡を認めた▲之れこそヴイラがサン、グロニモの戰に負傷して逃走した跡だ▲それ進めとドッド隊長の指揮のもとに敬を追つて騎兵の一隊……▲米人などのやる事は何うしても活動寫眞的だから可笑い

八階に積んである相な▲其等の彈藥は十呎づゝ隔てて六呎四方の穴の中に山の如く積み上げられ重砲用の巨彈間彈藥が貯藏してあり▲砲彈は二列に陣地の後方には何哩とも程知れぬ

疊值上げ廣告

疊表藺草原料騰貴及紺緣地騰貴に付四月一日より當分の間略一割値上げ可致候間各御得意樣御承諾願上候

大正五年四月一日

京龍疊商同業組合事務所

日韓書房 新版報告

澤柳政太郎著 學修法 定價五拾五錢 送料六錢
大村仁太郎編 同 我子の美德 定價五十五錢 送料六錢
大村仁太郎編 同 我子の惡德 定價五十五錢 送料六錢
笹川臨風著 同 日蓮上人 定價六拾錢 送料六錢
大村仁太郎編 同 太郎は如何にして教育すべき乎 定價六拾錢 送料六錢

京城本町二丁目 振替京城一四四番 電話二二二・五七五番

●懸賞寫眞當選披露●

四月七日よりの大正舘上場寫眞當選者左の如し
「大阪每日新聞連載小說柳川春葉傑作うき世劇」

當選者氏名(一等〜)

應募者五百十七名當選者三百八十九名の內先着五十名に對し一等招待券を郵送せり

京城櫻井町一丁目 新田演藝部

朝鮮總督府編纂 大正五年一月一日現在
朝鮮總督府及所屬官署職員錄
定價六十錢 送料八錢

大賣捌元 京城本町一丁目 大阪屋號書店
電話二〇八六、六八四。振替京城二五七三

觀賞樹 山林樹苗 果樹

木町二丁目に花卉、盆栽、種子の出張賣店あり

京城植物園 吉野櫻、八重櫻、一行院掘、立田、ニセアカシヤ、赤、黑松、桑、白楊、各種植苗、朝鮮栗、伊吹、各種、苹果、梨、等
造園請負、植木貸供給、其他園藝一般事業
電話一〇一四五

○補缺選擧當選 大邱學校組合議員補缺選擧は五日執行し

獨立三省が廣西四省柳州に於て具體的盟約を取結び軍事財政上協力一致の行動を執る事となりたるが共和軍むる事とすべく第一著に交涉すべきは左の各項なりと(奉天)
一、南軍を中華民國政府と承認せし
四、辛亥以前の條約は繼續有効とし當の保護を加へ敵軍に引き渡さゞる事

發し五月一日同院を開く事とせるが國民會議員の初選擧人は即ち彼の之を了知せる國民代表者を選出せしと(奉天)の法令を撤廢し立法院組織法に據り更めて正式の選擧を行ふ事となるべ

石松方に雇はれ居たるが同十三日夜李は主人と口論の末遂に石松を絞殺したる殺人及び死體遺棄の事件は三十一日を求刑し來る七日判決言渡しある筈(大阪)

○技藝學校の近況 京城女子 認許を得たりとの事なるが新入學者編入試驗は八日行ふ筈にて志願者は當日迄に申込むべしと

●南軍外交機關

[illegible]賀民忠吾の四氏當選したり（特電）

[illegible]關を上海に置き民國外交辯事處と名けて三省の代表者を派遣し執務せし[illegible]を負ふ[illegible]外人租界にある黨人は租界の治權を犯し安寧を妨害せざる限り相[illegible]

北京政府は豫きに國民會議員の[illegible]選人を立法院議員とする旨の法令を[illegible]を以て立法院を組織するは人氣政策[illegible]して甚だ不利なりとの見地より右[illegible]

[illegible]教授の長男李愿化（二三）が昨年十一月八日大阪東區備後町八丁目商佐々木[illegible]れて公判開廷事實の審問あり被告は裁判長の問に對し別段否認もせず全部陳述したるが檢事は死刑[illegible]

[illegible]爲すと共に遠來の生徒の爲め寄宿舍の設備を完全にして更に電車及び汽車の割引を鐵道局及び電氣會社よ[illegible]

[illegible]歴位置直隷北部▲低氣壓示度七百六十粍▲進行方向東▲警戒區域北西部

●皇后陛下御入洛

裝はれたる市街＝盛んなる奉迎

聖上陛下と御同列にて畝傍御陵御參拜の爲め本月一日より奈良に御駐輦あらせられたる皇后宮には五日午後一時奈良驛御發同一時三十分京都に御著輦遊ばされたり此日洛陽の空は紺碧に晴渡り八重霞深く襲纏ける東山模糊として夢の如し京都にては昨年秋の御大禮に際し

▲聖上陛下と御同列にて行啓を

仰ぐべき筈なりしに御都合にて皇后宮には行啓あらせられざりしが春靄靄なる今日御久方振りにて御入洛あらせらるゝに就き烏丸通其他御順路には御大典當時と同樣の裝飾を施し京都驛前には壯麗なる奉迎門巍然として建てり御著輦の定刻前に至れば賀陽久邇兩宮殿下を始め奉り村雲尼公、東西兩本願寺法主、各本山管長、井上市長、在京各皇族、赤十字社員、愛國婦人會員其他各種公共團體は停車場構内に、また第十六師團京都衛戍部隊、在郷軍人、各學校職員生徒は烏丸通の兩側に

▲整列して御著輦を待ち奉る

また大森知事は木津驛まで御出迎へをなしたるが御召列車の到著と共に古川鐵道院副總裁は恭しく御扉を開き參らせば陛下には御機嫌麗はしく御下車、御出迎への諸員に御會釋を賜はりつゝ御便殿に入らせられ御出迎への各皇族方を引見遊ばさる、軈て御鹵簿の用意整ふや御車寄より御馬車に召され千種權典侍御陪乘申し上げ、京都府

▲警部一名騎馬にて先驅し奉り

皇后旗、近衛將校、御台馬車、松川第十六師團長、女官、皇后宮太夫、宮内書記官の順序にて鹵簿を進ませられ大森知事また馬車にて扈從し奉り鹵簿蕭々として烏丸通に成らせらる、此時奉迎、堵列兵が吹奏の「君が代」の喇叭の音喨々として響き渡る斯くて同三時頃堺町御門より京都皇宮に入らせられたり（五日京都特電）

●重石の話

二千七百度の熱度でなければ熔解せぬ

三井物産株式會社　笠原寛美氏談

如何なる需要の爲めに重石が前に述べた樣な昂騰を來したかと云ふ事は今頃は大抵誰でも知つて居る處であるが重石は鐵に混入して其の質を強靱にする性を有して居るから

＝大砲、小銃の砲身＝

軍艦の水線下の重要部分に當る艦材其他鐵工用の鑿、鉋、錐、鋸、及び物及び電球纖維強堅及び熱度に對する抵抗力とを必要とする鐵材の製作に用ゐらるゝ事に爲つて居る之れで重石が戰亂の爲めに多大の需要を喚起して相場の昂騰を來したと云ふ事が能く分つて來る然らば重石を混入して鐵の硬度を増すと云ふ事は

＝何時頃發見された＝

かと云ふに今から約十年ばかり前に獨逸の一鐵工場の技師が偶然に發明して爾來タングステンを混入した鐵は鐵材を切る鋸とか鉋とか又は鐵材に穴を貫く錐とかと云ふ專ら鐵工用の刃物として用ひられて居つたが其後に至て更に重石を混入した鋼鐵は

＝熱度に對する抵抗力＝

も亦至つて強いと云ふ事が發見されたので以來回轉摩擦の爲めに熱を起し易い機械の車輪車軸等に用ひて居つたが強靱にして耐熱力が非常に強いから大砲小銃の砲身等の製作には理想的のものである重石を鐵に混入するには一度之れを

＝セロタングステン＝

と云ふ一種の重石鐵を作つてそれを鐵に混入するのであるセロタングステンと云ふのはタングステン七十、錳二十二、其他の不純物八、の成分を有する一種の鐵であつて從來我國では重石を輸出して獨逸で製造したこのセロタングステンを

＝非常な高價で輸入＝

して居つたが戰亂勃發以來獨逸から來なくなつたから昨年九月頃から枝光製鐵所でセロタングステンの製造を始め其他二三民間の製鐵所でも同樣製造の設備中である而して大砲の砲身等に用ひてある

＝鐵材にどの位の量＝

のタングステンが混入されて居るかと云ふと普通セロタングステン二、と鐵十八、の割合に爲つて居るが獨逸が用ひたと云ふ四十珊砲や其他非常なる硬度を要する鐵材を作るにはセロタングステンの量は更に多く加へられる事に爲つて居る、それからタングステンが非常な耐熱力を有して居ると云ふ事は鐵の硬度を増すと同樣に

＝タングステンの生命＝

であるがどの位耐熱力があるかと云ふに其の熔解には高力電氣を用ゐ二千七百度と云ふ高熱を與へなければならぬから如何にタングステンが熱度に對する抵抗力の偉大なるかを知る事が能きる

＝猶重石の精選方法＝

は其の結晶が比較的大なるを以て他の金屬に比して頗る容易であつて大抵礦石を一度粗碎して大なる物は之れを手で拾ひ粉碎されたものは洗滌法に由つて撰礦する其比重は十九、であつて礦石の儘にても七の比重を有して居る朝鮮では金剛山に三井礦山株式會社の重石撰礦場がある之れで重石に關する大體の事を述べたから次に朝鮮に於ける重石と其の將來に就てお話しをする（つゞく）

▲正誤　●[illegible]誤りに付訂正す

風船賣り
南山公園にて

◉地洋丸の船體切斷さる

香港來電に據れば地洋丸の船體は第三船艙の中間に於て二つに切斷せられたりと（上海電報）

◉金二萬圓の損害請求

京城在住佛國人間の訴訟

京城在住の佛國人ルイ、ルパルス氏は工藤辯護士を代理人として京城府路ロンドン商會主佛國人ルイ、ロンドン氏を相手取り不法行爲による損害賠償金二萬圓の請求訴訟を提起せり、ロンドン商會主は外國語に堪能なる辯護士三浦顯藏氏を代理人として應訴せり事件の内容はルパルス氏はロンドン氏に傭はれロンドン氏經營に係る平安北道昌城郡

▽昌城金鑛技師 として勤務するに當り契約を爲し若し今後兩人間に此雇傭契約に紛爭を生じたる場合は仲裁人を選定して此仲裁々斷に付し一切の解決を爲さしめ相互異議を唱へざることゝしたりしが後日果して紛爭を生じたるによりフラムトン及びデビトソン兩氏其仲裁の任に當り總べての書類を審査して一方にはルパルス（原告）氏を解傭すべきロンドン氏の權利を認容し他方にはルパルス氏に

▽金六千圓給付 すべきことゝなしロンドン氏は正に此金六千圓を支拂以後ルパルス氏との關係を絶てり然るに今回ルパルス氏は右の仲裁は書類仲裁の材料として調査されたる書類に虛僞の事實が記載しあるが爲め無効なりと云ひ總計金二萬圓の損害賠償を求め來れりロンドン氏代理人三浦辯護士の主張は仲裁々定に供せられたる書類は完全なるものにして毫も虛僞の事實を記載したる事なく仲裁々定に委付したる證據書類なる計算書はロンドン氏が

▽總督府に提出 せる計算書と同一なるものにして決して虛僞のものにあらずルパルス氏が謂ふが如く仲裁々定は無効のものにあらずと云ふにあり本件は本月七日再開廷となりルパルス氏側はフラムトン氏を證人として申請し三浦辯護士は證據

◉僞電報で詐欺

濡手で粟の飛田勝次

長崎縣下關[illegible]町生れ當時京城府西大門通五丁目櫻屋旅館止宿中の飛田勝次（三二）は自己の姉婿なる元山府居住の西山某が運送業をなし朝鮮郵船會社員に信用あるを知り元山旭町居住の山口[illegible]と濟木某と相談の上飛田が元山を出發せる翌日に「一寸[illegible]の地に居る二十圓立替へ頼む西山」といふ意味の電報を濟木より京城なる朝鮮郵船の某に發送せしめたり而して飛田は三月二十五日入京朝鮮郵船本社に至り社員を欺き小切手にて二十圓を騙取し尚ほ旅費が不足なりと稱し翌二十六日更に金五圓を詐取し同夜龍山桃山遊廓にて該金を消費し釜山迄逃走したる所を取押へられ本町署にて取調べの上檢事局に送らる

◉汽車中で頓死

一日夜安東行急行が京釜線龜浦驛に著かんとせる時勿禁行の朝鮮人三等客が突然卒倒したるより早速車掌が手當を加へ更に龜浦驛に著すると同時に醫師を呼びて手當を施したるも遂に心臟痲痺を起して死亡せり

◉憶「今日の追悼會」

英魂彷彿

忠清北道長官　柳赫魯氏談

故忠達公金玉均氏の追悼會が今日本願寺で催ふされるといふ事だが私も是非參會したいと思ふ、金玉均氏の家は今の紅峴の高等普通學校のある處で氏は有名な門閥家に生れた人である、私は郷里忠清南道の洪洲から京城に來て其の後年僅かに

◇十六歳の頃から

故人と交際したので洵に往時を追懷すれば無限の感に堪へぬのである、昨今新聞などで故人の寫眞として揭げられたものを見ると大變異つた面影となつて居るが故人の眞影は寧ろ四寸位であつたらうさ長面の方で身長は五尺三思ふ、昔ばなしも今ではあまり記憶

にたいが私の考へでは恐らく朝鮮であの位ゐ偉い男は無かつたやうに思ふ、其の日本內地に亡命した際の如きも僅に三箇月經つか經たぬ間に內地人とまがう許りの流暢な日本語を操り

◇知人を驚嘆させ

たものである、また日常の手紙にし

故金玉均氏の書（松寺檢事正所藏）

[illegible]臺山色晩蒼々[illegible]一望[illegible]
臺[illegible]人書法至今紅葉上畫[illegible]
[illegible]

ても文章にしても一度筆を執つて一書き初めた以上は立所に金玉の文字が出來て曾て一度も讀みかへした事がなかつた、それが何時か支那の李鴻章と信書の往復をして居る間に一度李鴻章が故人の文句が

巧く當時誰れからも提敬されて居たが唯だ閔氏の一族とは何うも面白くなかつたやうであつた、併し故人の理想は當時朝鮮に於て支那が跋扈して居つたから如何にもして半島から其の勢力を驅逐して了ひ日鮮の提攜して東洋の[illegible]平和と[illegible]大望なる閔族と合はなかつたのも無理な事であらう、故人の一族は氏の亡命後に於て刺客の毒手に斃れて殆んど全部虐殺し盡くされたので今日まで此れと言つて遺つて居る人が極めて少ないが當時から交友のあつたのは朴泳孝侯や李完用伯、趙重應子、宋秉畯子など現存して居る

◇當時は共に故人

は知人ではあるがよりも若かつたのであまりよく知らないと思ふ、私は恰度十五年の亂で朴泳孝侯などが日本へ謝罪使として派遣された時に故人と共に內地に往つたのであるが故人は此の時から日本と提攜するより他に朝鮮を幸福ならしめる途は無いと信じて居たのであつた、尤もその前から京城に居た十五年の內地漫遊が故人の發奮（東亞の大勢に就き人と[illegible]）に議論したものではあらうが兎に角十五年の內地漫遊が故人の發奮した動機となつて居る、其の後十七年の謂ゆる金玉均の變なるものは朝鮮から支那の勢力を驅逐せんと企て敗れたのであるが當時變を聞いた支那兵は袁世凱の指揮で悉しく景福宮の宮城に迫たので故人の一味徒黨は數洞の日本公使館に落ち延びたのであつた

◇空しく旗を捲て

あつた——それは確かに明治十七年の陰暦十月十七日、寒い晩秋の夜であつた、無論暫くは支那兵との間に砲火を交したのであつたがとうく恨を呑むで敗れたのであつた、嗚呼思ふて見ると往時夢の如し、幸ひにも今日の世の中は故人の理想通りになつたけれども若し天壽をかすに今幾年であつたならば日鮮の提攜も非常に早く成立したのであらうに、洵に惜しむべき事であつた、

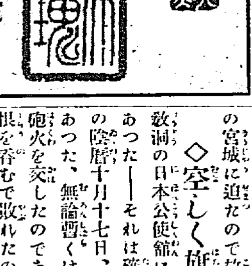
に於ても先方の名刺と顏と一度見たが最後その後何處で逢つても判然と氏名を記憶して居たもので、これなども知人間に有名なはなしであつた

◇頭の好い聰明な

男であつたから辯舌も亦なかくに

猪原君の篆刻

▲朝鮮ホテルの猪原君は根が器用だけに種々の事に器用だが此頃其の篆刻と來ては却々如何して堂に入つたもんだ▲贅澤なホテルのマネージヤーだから鋼川には既然業だらうと思はれるが猪原君に言はせるとどうしてく大抵の苦勞ではないと云ふ▲何しろ氣なつかふ事が多いので所謂心肥を轉ずる必要ありとて球も撞いたり謠曲もやつたりして見たが、どうも思ふやうに氣が盛らぬさあつてあれや是れやさ頭なひねつた末考へ付いたは子供の時一寸戲らに行つた事のある篆刻▲已れの消樂はコレ[illegible]

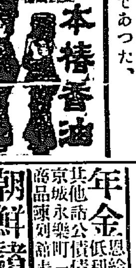


と先生小膝を叩いて刀を執り始めたのが去年の秋の共進會頃だ、其れ以來暇さへあれば執刀三昧に入つて居るがそれこそ瞬中一點の妄念なく萬事を忘れに盤して神に入るの感ありと先生は欣んで居る▲先日も花房軍や野田大塊翁、徳富蘇峰氏等の小集の席上で不圖猪原君に此道味あることがわかり大塊翁それでは吾輩にイツチヨ彫つて貰ひたいとの所望に早速承知と來て彫り上つたのが乃ち此處に揭げてある通りのもの▲それ以來といふものは我れもくさ名家からの注文にさすがの猪原君、鵜飼ごころか飛んだ仕事が殖えた上に印材まで自分持ちさ來てるので近頃聊か苦に病んでるさは北寶嬉し相な顏での話

◉高橋屬の慶事　總督府秘書課高橋屬は京畿道事務官高橋氏の長女操子孃との婚約成り此程新郎の典を擧げ去三日京城ホテルに盛大なる披露宴を張れり

◉壽座の女優團　壽座の女優團一行は五日より開演の筈なりしが都合により日取を變更し七日より開演すべしと

金牌受領　髪を黒く長くつやを出しさらくとして髪の脊を防ぐ事妙　本椿香油



京日案內

普通（一回前金三十錢（無割引）一題每に金五錢增）

◉小供[illegible]入用　長谷川町八三　西崎商店　46

▲高等學校其他前期學用の御不用教科書類高價買入　京城本町二　電二五二七　ウツボヤ書店　453

◉[illegible]募集[illegible]八千代生命保險會社　43

◉[illegible]古本高價買入の方は本町二丁目[illegible]電話[illegible]へ　41

▲學生諸氏[illegible]京城本町四[illegible]書店　40

◉[illegible]買入[illegible]二三二七　ウツボヤ書店　453

◉配達人募集[illegible]京城櫻井町[illegible]　34

◉[illegible]看護婦會　電二九一二　35

◉[illegible]買入[illegible]京城本町[illegible]野村書店　16

◉[illegible]京城本町二[illegible]文堂書店　17

◉[illegible]電話八六五[illegible]　8

番外[illegible]京城本町一ノ四九　松井[illegible]　S

勸業債券高價買入　並に債券擔保貸付　京城太平通二丁目　電話二八三一　商業銀行　朝鮮債券部　42

好職　利益ある男女誰でも出來る本業又は副業に適する志望者は來店又は郵券十錢送れ案內書及製品見本急送す　京城太平通二大漢門前　太陽ゴム商會　32

萬年筆修理應需　地方よりの修理は往復端書にて照會　京城若草町一六四　秋田屋地方部　13

◉花柳病外科專門　▲司生堂醫院　入院隨意　京城內大門通（農工銀行裏）　434

▼癩病梅毒妙藥　◉渡邊藥劑師責任製劑　京城南大門正面　電話二五八三番　救世藥舘　446

▼鑛物各種分析　京城太平町二の一二五　坂本分析所　49

◉社員募集　三十歲前後にして身體強壯なる者數名希望者履歴書持參午前十時迄に來談あれ　本町二丁目八六　シンガーミシン會社　47

年金恩給退隱料で金融希望者へ其他諸公債證券に對し低利便に數年分即時立替擔保貸金　京城永樂町一丁目商品陳列館表門前　江州屋　本店　48

朝鮮諸官廳受驗講義錄　全部七冊金一圓八十錢送料十四錢　振替京城一一九二　京城旭町二　朝鮮雜誌社內　朝鮮文學會　51

貸家　家屋等を分割し御貸可申候　鍾路一丁目八番　電話　南山町二丁目卅一番地邸內の西洋館及其他の　井上藥品部　50

夜學生募集　英漢數（算代幾三角術）　英漢數教授者中等教員免許狀所有者早稻田大學出身者等　明治町二丁目　小川旅館內　英漢數教授所　52

履物問屋　井筒田屋號　大路本店　大阪市御堂筋北久太郎町　電話東百十九番　振大阪一四一八八　御一報次第相場表御送付可仕　每月[illegible]大阪履物商進會[illegible]

松材販賣廣告　一、李王職花山森林拂下松材　土工橋梁建築用丸太及挽材各種　今般左記出張所相設安價販賣可致多少に不拘御用命仰付被下度願上候　京城岡崎町（電話二八〇〇番）　丸三　幸洋行　餅店出張所　主任　松井吉太郎　龍山漢江通（電話一二〇番）　特約販賣店　⑥那須材木店　松生丸太（末三寸以上）杭木用材（日六寸以下）　天安驛平澤驛多數出材仕候間不相變御引立御用命仰付被下度願上候　餅店驛前　松井吉太郎

宮內省御用達　最上醬油元祖　開業三百七十二年　醸造元[illegible]　到る處酒醬油店に有　ヤマサ醬油

京城寺洞前　電話二七二二　[illegible]商舖　[illegible]京城二三六七番　技術勉強地方は送料頂きません

拜謁濟　謹宮國　大禮使長官御許可　大隈總理大臣官邸に於て　聖上陛下の御尊影を數回拜し奉る　御大典寫眞並に宮中御儀式、大觀艦式、大觀兵式、御還幸東京奉祝會　當る七日まで晝夜二回開會　また拜す事の出來ぬ記念寫眞　學生諸君及各種團體には會費低減す　於　有樂舘

市街宅地競賣　入札立會人　持主代理人　井上正治　朝鮮大田驛前春日町目貸の內地人向拾餘坪月坪五錢にて貸あり　百八十坪　四月十五日同地井上正治宅にて公入札即日開札全取引は四月末

千生瓢（173）

須藤南翠作 筒井年峰畫

調略（五）

其時信輝入道勝入齋は、懐中より一紙の神文を取り出して、

『羽柴筑前守殿より再應の御使者として、津田隼人佐を差遣され、北畠殿は右大臣家御連枝たる由緒を以て幼若の御後見に仰ぎ丹羽殿、我等、和殿ともに事を執り申す處、兎角騒擾の御擧動多く、殊に御疑念深くして、累代の年寄共、秀吉に通じ、謀叛にても企つるやう、讒者の言を信じて仔細も糺さず暗殺同然に誅戮を加へ、陰かに徳川家康を語らうて、逆亂を催さるゝ條、言語道斷なり。仍て秀吉大軍を催して尾張に罷り向ひ、急度其罪を糺さうと存ずる。和殿若し理非曲直の歸する所を明かにして、秀吉の爲とは申さぬ。天下の爲に粉骨を抽でらるゝに於ては、美濃尾張に三河を相添へ、三箇國の沙汰を御任せ申さんこと、毛頭違變あるべからず。故に更に神文を以て申し進ずるものなりとおざつた。入來、秀吉は朝の御覺えもめでたく、天下の政道自から其掌握に歸したる段、是れ全く其器に叶ふが故に、天下の望の歸する所、此の勢を得たる儀と存ずる。されば北畠殿の御頼みも餘儀なき次第とは申しながら、利運なき戦と見て、家を棄て身を捨てまで、加擔せねばならぬ程、彼方に深恩は受け申さぬに依つて、御氣の毒ながら御斷り申し上げ、更めて秀吉に與力致し、三法師君の御爲に忠戰み抽でようと存じ極めた。武藏殿も左樣承知せさせられい。面々も左樣心得い』と、斷乎として決意を表白した。

『斯くありてこそ池田の御家は千萬年の榮えを保ちます。我等が子孫も御家あらん限り、永く御恩に浴するでおざりまする。』一同謹んで御受け申し上げると、滿座の諸士も一人の異議者なく、謹んで命を奉じた。

勝入齋は躍るばかりに喜んだが、片桐半右衛門に目を注けて、

『半右衛門其方は何うぢや』と、取り別けて聞き糺した。

半右衛門は莞爾と笑つて、

『半右衛門の所存も、御家の長久を存じての事おざりまする。殿思召し定められたとあるに、何條違背仕りませう』と、潔よい對へをした。

『早速の承知忝けない、何分其方達の動作を賴み入る』

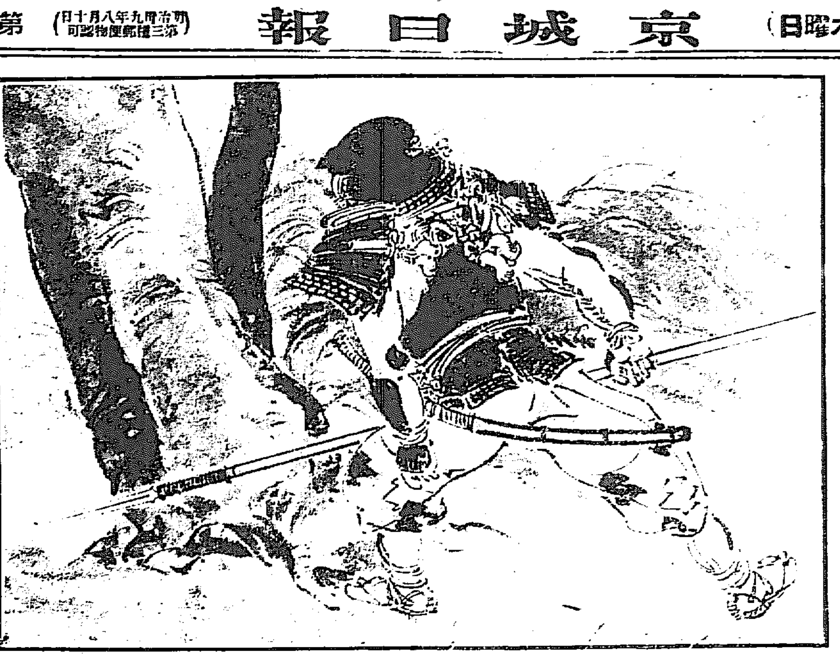
『御意までもおざりませぬ。然る上は、犬山城は清洲に對する關門の要害、且は御領地にもおざりますれば百姓町人共の内には、今も舊恩を存じ居る者おざりませう。敵の人數を留めぬうち、先つて彼處を落し給はゞ、手合せの功名之に越したる儀はおざりますまい。存じ寄りまいたまゝ言上仕つる』

半右衛門は傍を拂つて、思ひ切つたる獻策をした。其意氣既に犬山城を呑むの槩があつたので、勝入齋を始めとして、滿座の諸士皆手を拍つて、天晴名策と感嘆した。

斯く評議の一決した處から、大阪方の先使尾藤甚右衛門尉、後使津田隼人佐の兩人は、滯りなく使命を果して、首尾を喜びつゝ美濃を去つたが、北畠家の使者は、賴み切つた池田父子に背かれて、色を變じて馳せ歸つた。

秀吉は池田を調略に依つて引き入れると同時に、大膽不敵にも密使を遠州濱松へ送つて、調略の手を徳川參議家康にまで延ばしたのであつた。其使者は内外に手を廻して、强て家康を動かさうと試み、事終らば美濃尾張兩國を進じ申すとの重賞まで加へたのであつた。けれども秀吉に恩怨の因縁もなく、全く道路の人である家康は、却つて秀吉の亡狀を惱つて、

『秀吉の申さるゝ趣き委細承はり及ぶ。併しながら某と織田殿とは、古くより申し交したる盟約のあること、織田殿の郎等として、秀吉も承知の事と存ずる。信長薨去ありしとは申せ、其子孫ある限りは、盟約も存する儀、今更變ずることは仕り難い。此由確と立歸つて申されい』と、魚膠もなく拒絶した。



京城明治町 木村屋のパンとキャラメル…… 木村屋 （電話二八七〇番）

愛讀者に謝す

前號調略（五）は犬山城（二）の前に掲出す可きものを誤りて前後せしに付諒恕を乞ふ

□アジロ會句録

○春風五句集發表（出句者二十名）

なす事のなく食客す春の風　烏石
搦ひ合ふ二人に輕し春の風　泰洲
山の裾曳きずる野や春の風　獣鵝
厨へ來し犬に礫す春の風　僮豪
穢芝に蟻見る日春風中　田柿
鈸乾く囀りに軒の影長し　羽双
囀れる道の石垣にさらさる　同
椿咲て日弱りし障子裂けたり　同
椿折るゝ袴の紐の垂るゝなり　同
椿咲いて年越せし蚰の掘燭り　同
積む椿の煤温り椿落ち次ぐ　田柿
白椿日曜をなど袴著て　同
椿垣舟出來きに立ちつくす　同
田止りの椿に鵜來るとなき　同
春の雪ふゝまさる晁落ち水　同

○新集『○園』五句四月十五日締切 京城花園町六七杉原田柿宛

新刊紹介

▲朝鮮公論（四の四） 政治季節の經驗と寺内伯 東拓改革論 牧山社長 欧洲大戦と米國人の態度 姉崎正治 欧洲に於ける戦時經濟に付て 村田東拓理事（京城朝鮮公論社發行）

▲教育の實際（十の六） 東京日本橋區本石町寶文館 十八錢

▲家庭教育 東京日本橋區本石町寶文館

▲書畫骨董雜誌（九十四號） 東京芝區南佐久間町一の三 十八錢

▲政黨政策と道徳（東西時論第四篇）

▲巴爾幹半島（東西時論第三篇） 東京京橋區加賀町

▲解剖刀下女自能

▲趣味之友（四月號）

▲國民飛行（一の四） 本邦唯一の航空機雜誌

▲東洋皮革新報（二の三四） 十錢 大阪市東區内淡路町二の一七 其社

▲大阪朝鮮貿易商報（三八） 五錢 大阪市西區北堀江町通一の四 其社

▲英語の日本（三月號） 十錢 東京市神田區表神保町三 健文社

▲ゴム新報（三月號） 十錢 東京市神田區錦町五 其社

博士實驗 毛生へ藥

田中醫學博士が實驗の上幾多の毛生藥中最も卓絶せる効能あるを認められたベストは妾が自分の必要に迫られて百方苦辛の結果遂に創製しました者で禿頭薄毛生毛生際拔毛腫物の禿有るべき所に無き等に確に毛を生やすから全國諸新聞に多大の賞讃を受て居ます、ハガキで申込の方へ委しく封書で御通知し升 ●東京市築地一丁目 横出とり子

新案特許 淋病熱氣治療器 りん病

淋病は四十度の熱を加へて其黴菌を殺せば全治し得る事は今や醫學界に確認せられたり本器は此最新發明品にて自宅で安全に且快速に治癒せしむる最完成進歩せる物なり同病者は彼是迷はず直にハガキで申込まれよ詳細なる熱氣療法説明書進呈す ●東京市下谷區中根岸町八十一番地 日本醴育商會治療器部

クスリはホシ 眼藥

定價十錢 此外適藥四十餘種各地藥店にあり

ぢ病

●いぼぢ ●はしり痔 ●裂痔 ●脱肛 ●痔出血 ●痔瘻

痔疾に病める人に 痔は永らくつらい苦しい思ひをされた種々の御治療や御藥を服せられて効顯なき御方は藥物治療の最後の御試しにハガキにて御照會あれば實地研究の上最もヨク〳〵妙藥の自宅療法書を無代で差上げます 東京府下大森新井宿字根岸 中江藥房

わきの下のくさき ●わきが

醫學士宮田權之丞先生が多くの腋臭藥の中で一番能く効くことを證明せられた腋臭水は腋臭の病源である汗腺皮脂腺に作用してわきがを治癒する効能すぐれて居ります殊に現今は暑中と違ひ汗の出るのも少なく從て藥効も作用もよく夏より今から強くわきがを治癒するに今が一番よい時ですアリフレた一時押への藥と違ひますから少しでもわきの下のくさいと思ふ方は今すぐにハガキで東京芝愛宕町東京藥院へ御申込なさいわきが治療に關するくわしき説明書を秘密に封書で送られます

苗木大安賣

苹果 一年生 壹圓二十錢 二年生 二圓五十錢
梨 一年生 二圓
桃、柿、葡萄、桐、桐根 アカシヤ苗及各種 壹斗十五圓

生花用植木 五種壹組

小包料共壹圓 金柑木、朝鮮槇、香花、貝塚、ユブ木

仁川仲町 万苗園

開運 指導案内

敬神家は悉く來て其神徳を受けよ

目下病氣又は不運の人は神代法に依て必ず全治及開運者衛生神理療救濟の爲め

募集 各地に支部布教所設置す 行者祈禱家及陰陽家其他望みの方は郵券六錢切手封入照會あれば第一開運規定書を返送る

東京本郷區湯島四丁目 神誠教會

◎ひとりで出來る あ・つ・く・な・い 灸治法を教へる

▲東京温灸院長福岡利三先生考案▼

◎ぢつう ◎めまひ ◎のぼせ ◎かたのこり ◎ぢ疾 ◎神經病 ◎リウマチス ◎齒痛 ◎せんき ◎眼病 ◎かつけ

郵券二錢を封入して申込みあれ 東京淺草花川戸 東陽社

愛用者の聲

美顔白粉は、品質が飛拔けて良いので大變な人氣を引き起しましたにつけ、各地の愛用者から贈られた感想を謹んで茲に御紹介致します

十九、妹の謀計

靜岡縣庵原郡富士川町 村田こま子殿

妾はもと或白粉の愛用者でありましたが、妹は美顔白粉が大の贔負でした。或日妹は妾の壜の中へそうッと美顔白粉を詰めて置きました。妾は其れを知らずに使つて居りますと、顔が滑々して、以前よりは皮膚美が發揮されて來ました。殊に不思議に感じたのは、斑が出來ずに能く附いて、容易に剝げず今までの白粉燒の痕が自然に消ゑて行く事でした。妹の謀計圖に當つて、妾は今日ではもう立派な美顔白粉の讃美者の一人であります。

二〇、一年餘の經驗

佐賀縣西松浦郡西山代村 北川敬子殿

私は昨秋嫁いで參ります當時から美顔白粉の愛用者で御座います。此一年餘の經驗によりますと、第一ノビがよく生地其儘の白さに附きますので、近所の方に『何うして然うお美しくなられるのでせう。』など聞かれる毎に、しみ〴〵美顔白粉を常用する事の幸福を感じます。又此白粉はホンの少量でしつくりと能く附きますので、以前は毎月一瓶で足らなかつたのが此白粉ですと五十日もあります。ですから經濟上からも大層有益で、是だけの白粉は他にありませんから皆樣にも薦めて居ます。

二一、此邊でも……

沖繩縣國頭郡金武 新里アイ殿

本州から遙かなく〜浪路を隔てた此島に生活する私は、美顔白粉によつて如何ばかり心を慰められて居りますか、本土の方々には一寸想像のできぬ事で御在ませう。美顔白粉は其品質の工合で誰にも殆ど上手下手がなく生地から色の白い樣に附き、而て實際穉けて使つてゐる間に生地の色まで白くなる事を經驗致しました。私は從來斯ういふ白粉に出遇つた事が御在ません。ですから衣裝や風俗の遂ふ此邊でも白粉は大方此白粉を用ひてゐます。香のよい附心地のよい此白粉で厭味なく化粧して、南風に吹れて行く外面を逍遙する時、私は何ともいへぬ愉悦の情を起させられずには居りません。

二二、父母の許

和歌山縣海草郡紀三井寺 石井安代殿

元々私は人一倍の荒性なので、常々美顔水を用ひて居ります。洗面や入浴後に缺さず摩込む樣にします。それ故荒性の私も顔や肌は毎も滑かで御座います。それから入浴後は美顔白粉で薄すら化粧致しますと何ともいへぬ床しい香がして誠に氣持よく感じます。未だ少女の身でお化粧などは慇こらしくていけないと言つてゐた父母も、美顔白粉のみは生れつき色白の如くに附き其上上品な色艶なので、此白粉でお化粧する事を許して呉れたのです。

二三、初めて知つた時

京都綾小路黒門東入 關うた子殿

紫の襟から拔けて出さうな襟足、こゝろもち首かしげた美枝さんのお顔のお美しさ。此間お逢した時何だか薄黒く斑になつてお鼻の先ばかり白かつたお化粧とは別人の樣です。『あら厭よ、顔ばかり御覽なすつて。墨でも附いてて？でも美しいでせう今日は。』と紅裏の袂から美枝さんは白粉の瓶を取出して、『ほゝ、謎は是で解決ですわ、貴孃も使つて御覽なさいまし。』『それは有難う。』と手に取れば、アラ美顔白粉!!

二四、床しき匂ひ

大阪市東區備後町四丁目 西松蔦子殿

美顔白粉は實に時勢に適合した、最新理想通りの白粉であります。特に私の氣に入つたのは、あの何とも云へない床しい匂ひで御座います。毎もお化粧をすました後の氣持の爽かさは、全で花の精にでも包まれた樣で御座いますもの。それにお化粧の爲方が至つて簡單で、眞の生地が白い樣に自然に落附いて、少しもケバ〳〵しい所が無くて上品に美しい色艶に附くのですから、我々女學生等には極く適當の白粉だと信じてゐます。」

2576.47

新刊書御案内

書名	著者	定價
カイゼルの裏面	グレペイン博士	九〇
女探訪	旭遊龍三郎	七〇
和歌の作りやう	武島羽衣等	六〇
畫家の妻	露城	六〇
百東閑の粉粹	龍峰	三五
金與のうろこ	小劍	三五
安易生活と食物の活用	山田耕作	三五
女學校出の花嫁さん	恐野他見男	四〇
女は母性である	北島	八五
伊太利から英國へ	本間久雄	一、三〇
珠玉鈔	松本苦味	九五
勞働運動の哲學	大杉榮	三五
哲學と文藝	石本臣雲	一、二〇
農村生活三十年	赤原西文	四五
李少南書帖	金圭	二、〇〇

京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八六 振替京城二五七三番

質

京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所（電話六三九番）

新式特許 ちをさゝる機械 一具金一圓八十錢 特製金二圓五十錢

新式 月經帶（婦人衛生上最必用品） 一具金一圓三十錢

新式 ね小便袋 定價（乳兒用一圓 小兒用五十錢 必ず男女申込あれ） 大人用二圓

都の花 並製十二個四十五錢 …

つや衣（新式ルーデサック） 一個…

密送料各八錢代金引換卅五錢 臺灣、樺太、朝鮮、滿洲三十錢

東京深川區富川町三番地 發賣元 筑波商會

大阪商船仁川出帆

○外國航路、近海航路の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
油頭丸 四月十日 午後五時出帆
天智丸 四月七日
宮島丸 四月四日
×木浦、釜山、長崎行（▲は長崎より浦に寄港）
信濃川丸 四月五日 後二時出
鎭南浦、大連行
信濃川丸 三月三十一日 後二時出
大阪直航
安東丸 四月 日 後五時出
大連直行
福州丸 四月十五日 正午出帆
湖州丸 四月三日
群山、釜山、瑞濱行
潮州丸 四月八日 午後二時出帆
福州丸 四月 日
清津、浦潮行（元山出帆）
須磨丸 四月 日
豊北丸 四月 日
平安丸 四月十五日 午後二時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸 四月一日 後十時出
新高丸 四月十二日 後四時出

御注意 ○鮮滿鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ○×印は一等客御斷り ○印は貨客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇八（五五〇）
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割引門司より割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
河丸 四月廿二日 正午出帆
相模丸 四月四日 正午出帆
高砂丸 四月十日 正午出帆
仁川港町一丁目 堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

大阪、關門、芝罘、大連行
共同丸 四月二日 後二時入 四月四日 前九時出
朝鮮沿海主要港に定期航海し御客並に貨物取扱申候 大連にて青島行定期船に接續し旅客貨物積込取扱仕候
第一成鶴丸 城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 月 日 後九時出港
第三西湖丸 津沿岸各港を經て雄基行 月 日 前八時出帆
（元山出帆）
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目（電話一〇八番） 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店（電話二四〇番） 田口回漕部 京城取次店 大門前（電話二六八、二〇七） 河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社 電話一九五二三三番 京城府本町通り… 支店出張所代理店… 松原運送店
全羅丸 四月十二日 釜山發
京畿丸 四月六日
黄海丸 四月十六日
咸鏡丸 四月十三日
忠清丸 四月十三日
平安丸 四月十三日 元山發
咸興丸 四月十一日
江原丸 四月七日
…

三浦丸 四月十一日 釜山發
海州丸 巨文島、濟州、西歸浦行
江陵丸 毎日（浦項） 釜山發
宗信丸 四月十二日 仁川發
公州丸 四月七日 木浦發
慶興丸 四月九日 木浦發
順天丸 三日目毎 木浦發
晋州丸 四月十一日 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸
平安丸 四月十八日 群山發 若松發

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 神丸 四月九日後五時出帆
○元山清津浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 四月廿六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月 八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大與丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
本社 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
吉丸 月 日後四時出帆
有丸 四月 九日後四時出帆
代丸 四月 六日後四時出帆
鞍丸 月 日後四時出帆
君が代丸 月 日後四時出帆
仁川港町 杉回漕部

商況

大阪株式特電

▲五日

大阪株	一〇四、〇〇
東洋紡	一三〇、八〇
鐘淵紡績	六九、五〇

▲五日郵船

四月限 一三一、一〇 一三一、七〇
五月限 一三一、三〇 一三〇、九〇
六月限 一三〇、… 一三〇、六〇
七月限 一三一、… 一三一、四〇

下關期米特電

五日後場（開散無味各地小強きも買方氣乘りなく出正米殆んど不味）

▲更に動かず

五日前場 大阪前場十四圓十錢後寄十三錢の入氣盛期地方安…引先十圓八十三錢より四十錢に掛けて動かず後節三四錢の保合にて結局八十三錢と釘付…

▲現物界

…

五日の六月限

…○八十四錢三四錢…○八十三錢

四月限 五百五十石

平均値段	
一節	十圓八十三錢
二節	十圓八十四錢
三節	十圓八十三錢
四節	十圓八十三錢

團長に補せられ不日任地天津に赴く可く又會員第一憲兵分隊長村井大尉は停年滿期となりて歸國と就き右の…